戦国鉄狐

10

せんごくてっこ

水上悟志

せんごくようこ

戦国妖狐

水上悟志

10

contents

3 第52回 旅の終わり

57 第53回 邂逅

59 第54回 元亀4年

91 第55回 結界島

121 第56回 予言

149 第57回 古恩

こっちだなう

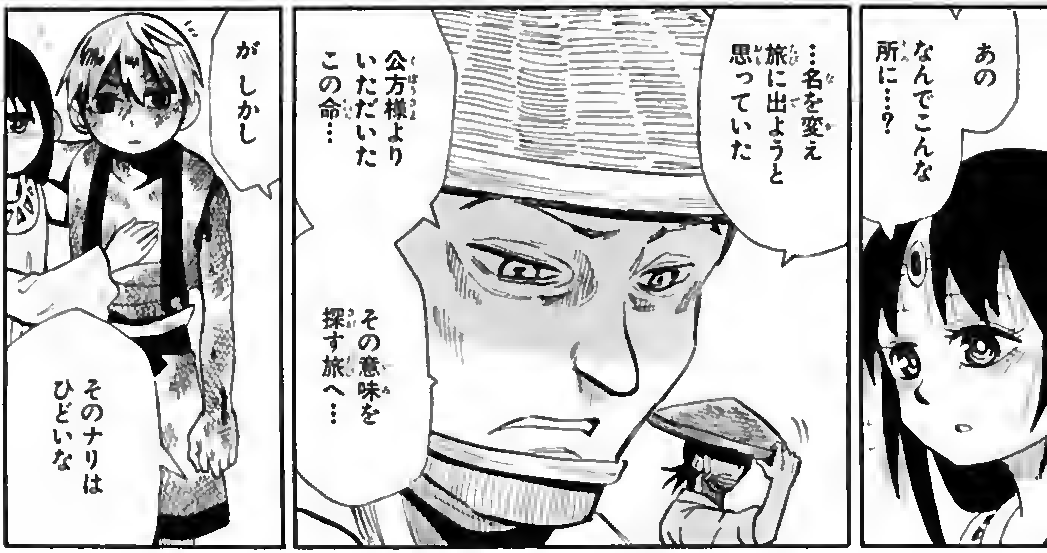
……？

第52回　旅の終わり

きょ 京って こっちだっけ…？
いいから ついて来い
月湖救出後の ことは事前に しんすけと打ち合わせて 任されてるなう

ざっ
ざっ
ざっ
！
誰か 来る…
あれ 御所で 見た人…
え
む 真介殿の お弟子の 二人。
お…

その様子を見ると
此度の件で二人も
闇の世界から
公方様のお力に
なってくれたのだな
我々には
できなかった
ことを…
感謝する
……
此度の件…？


あの
なんでこんな
所に…？
…名を変え
旅に出ようと
思っていた
公方様より
いただいた
この命…
その意味を
探す旅へ…
がしかし
そのナリは
ひどいな

私はこの子らを
連れて一度
引き返す
皆は行け
ここでお別れ
だ
ああ…
達者でな
おぶされ
真介殿の
所まで連れて
いってやる
すみま
せん…
そう遠くは
ない
寝ていろ

そう遠くはない…？
やっぱり京じゃないのか…？
なんで家臣の人が…旅に…しかも名を変えるって…？

それにさっき闇の世界って言った…？
何で知ってるんだ…？
……うねむい…
さすがに…

つかれた…
……？
なんの音だ？
ゴォォォ

吹雪？
なんで吹雪が

あれ…？
ああ
そうだ
私は…

私は今
雪山に居るのだった
歩きながら夢を見ていたのか
しっかりしないとな
それにしても懐かしい夢を見るものだ
幼い頃のこと
あれから随分経ったのに

きっと失ったものは何もない
皆が私に残していった温かい何かがある
時と共に積み重なった沢山の温かいものが
たとえ吹雪の中であろうとも
いつでも私を笑わせてくれる

あるいは少年の日の私が 今の私の夢を見ているのかもしれない
ふ
それは愉快
少年の私よ
この姿を見よ!!

キミは今は泣け
別れの後にキミの中に残された温かいものに気付くまで
やがて…

第52回 旅の終わり

！
ここは…!?
ば、
が
千夜
起きたの
がらら
大丈夫か
なう
ぴょん
ここは華寅様が
用意してくれた
土地の村だよ
村？
御所は？
あのね
聞いて
千夜
…将軍様が…

将軍様が
死んだ

村は知らぬ間に
襲撃から逃がされ
表向き 自身も
死んだことになっている
御所の家人達の

悲しみで
沈んでいた

彼らの半数は
名を変え生きて
いくと村を出た

残りはここで
亡き主人を偲び
泣き暮らしている

千夜

よ 凄い
怪我だったぞ

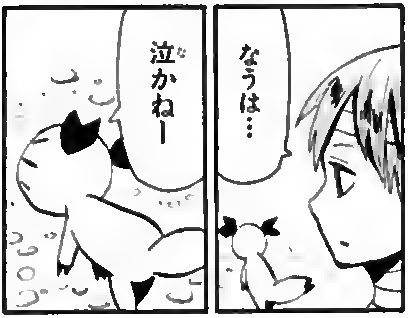
大変だったな

うん…
……
しんすけも泣いたの？
泣いたよ
お前も泣いとけ

泣けなかった

お前の傷が癒えるまではこの村に留まるゆっくり休め
む向こうに川があるの
行こ
うん

月湖は泣いた？
うん…
着物返せなかった…
……そう


なうは…
泣かねー

なうは
おれ達より
先に知っていた
覚悟を決めて
いたのかも
しれない
そう
おれは

きっと記憶を
取り戻す前なら
すぐに
泣いた

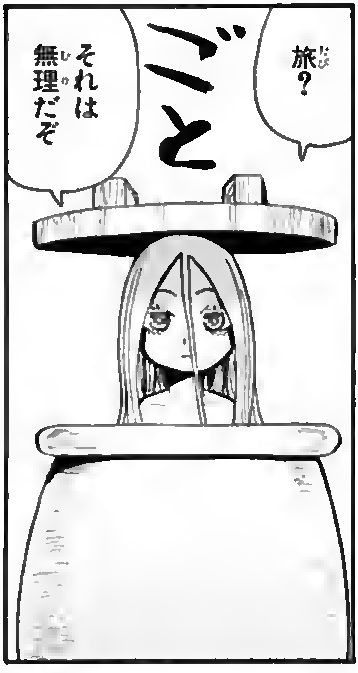
断怪衆の兵器
として沢山の闇達
を殺してきた
記憶が
こう言う

今更 人の死で
泣くのか？
お前も沢山
殺したのに

笑え!!
笑うことは
心がなければ
できぬ
笑っておる限り
お主は兵器には戻らん
むに
…笑う時でも
ない気が
はっはっは!!
わしが死んだ
くらいでなんだ
生きていれば
死ぬものだ
笑え
笑え!
ガーン
言いそう
きゃっ
ふふ
ガ
笑わ
なくても
ごめん
別に月湖を
笑ったわけじゃ…
大丈
夫?

しんすけ
これから
どうするの？
山戸迅火を
捜しに行くの？
ああ
まずは
荒吹を直せそうな
刀鍛冶をたずねて
それから
たまが言ってた
占い師というのを
捜してみるか

また4人で
旅をしよう
はい
せんせい
おー
……


旅？
ゴト
それは
無理だぞ

うわっ なんで
ンな所に!?
落ち着く
から
旅は無理
って…？

真介と斬蔵の
血と名で
この村に結界を
結んだからな
この二人は村から
そう簡単に
出られんぞ

え

待て待て
なにそれ

京より外の地を
転送先にしたから
妾の霊力の影響を
受けている関係者を
その地にくくりつけねば
大人数の転送が
できなくてな

（結界で華宵の佰の支配地に）

霊力にモノをいわせて強引に転送できる

華宵の杆甲

華宵の杆乙

先行転送

転送

先が塞き

京（華宵の支配地）

華宵

人間一人に任せる
には広いので二人で

？
どゆこと

おれどーなって
んの？
上の図の手下って
おれ？

人の身のまま
半分土地神
みたいになっとる

霊力はないが

よく
わからん
が…

おれ一生
ここで…？

……
……
……

どーかな…
……

解けねーのか
その結界!!

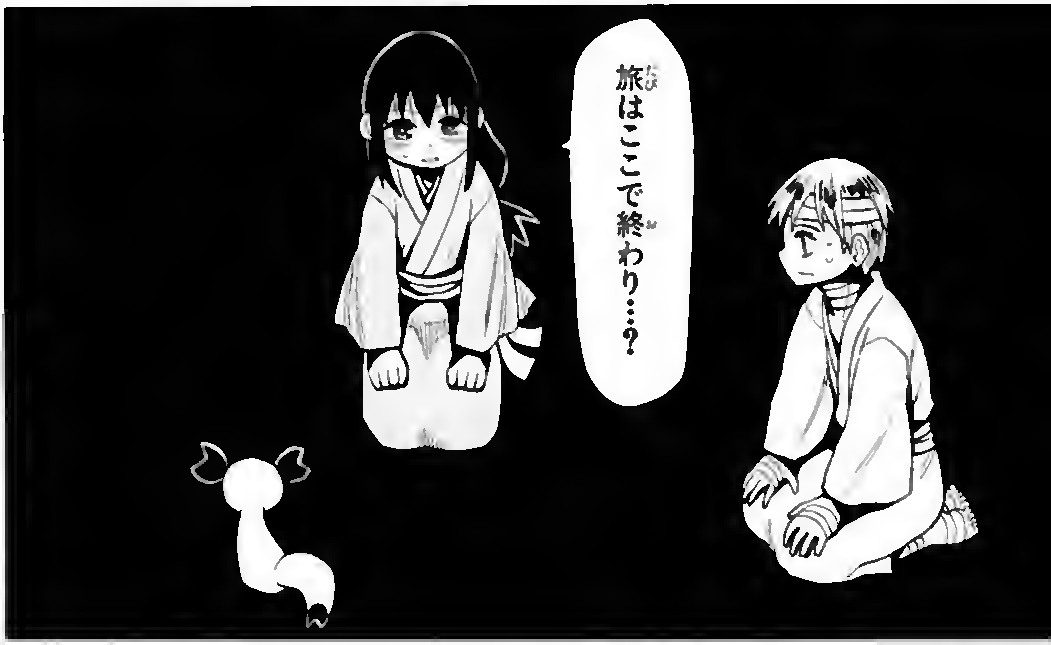
ガタ
ガタ
ガタ

ああああ
ゆらすな

え

？

も
もしかして


旅はここで終わり…？

ふッ
ヒュ
ヒュ
ヒュ

しっ

寝れねぇのか？
じっとしてろよスゲー怪我だったぜ

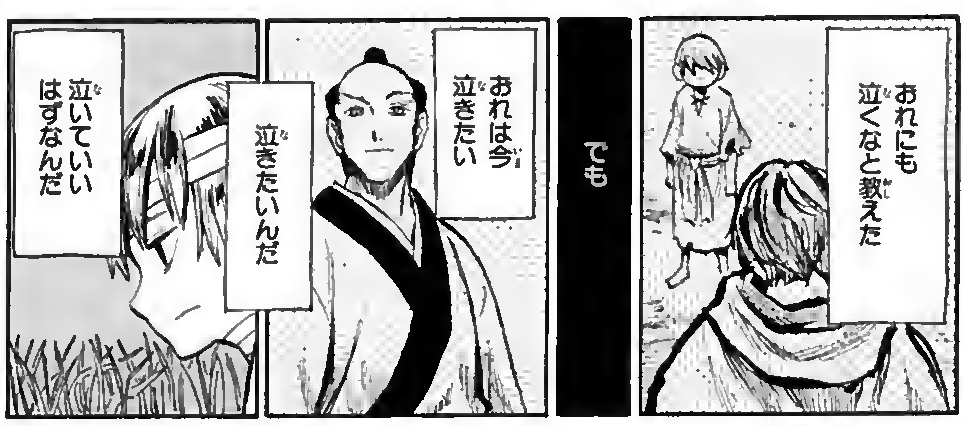
あの…　結界のことは…
知ってるよ
本当にもう…どこにも行けないんですか
さあな　いずれ機会はあると思いたいが…
おれの場合そんな重しでもなけりゃ単身松永の城に乗り込みかねねえからよ
しばらくここで頭冷やすぜ

そうですか…
……
なあ
お前
おれのこと
覚えてっか？
おれの妹
お前の親父に
殺された
んだが
なぜって
お前が
斬ったから
…わり
お前は
悪くない
でも おれも
居ました
断怪衆の
兵器として

…見習いだろ
いいから寝ろ
……
…お前は

お前はどこにでも行ける
…また親父に会えるといいな
ペラ
…父上…
父上は

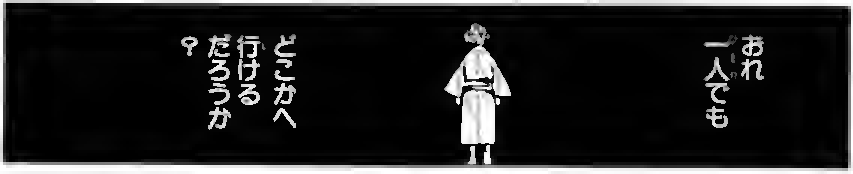
強くて
大きくて
笑わなくて
いつも正義のことを考えていた
きっと父上は何があっても泣かないし


おれにも泣くなと教えた
でも
おれは今泣きたい
泣きたいんだ
泣いていいはずなんだ

父上に
教えたい
笑うこと
泣くこと

ずっと
父上や
しんすけに
連れられて
歩いてきた

お前は
どこにでも
行ける


おれ
一人でも
どこかへ
行ける
だろうか
？

いや
一人でも
行かなきゃ
いけない
おれの所には
来るから

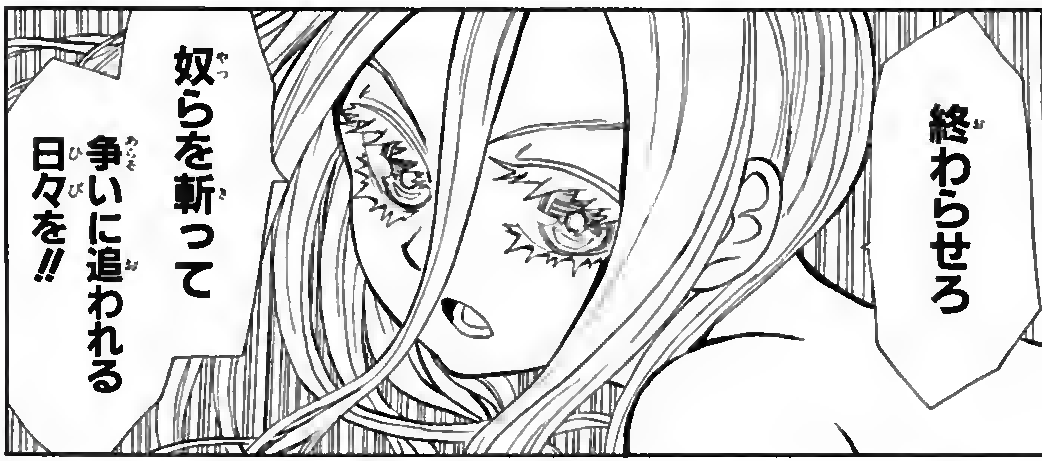
ほら

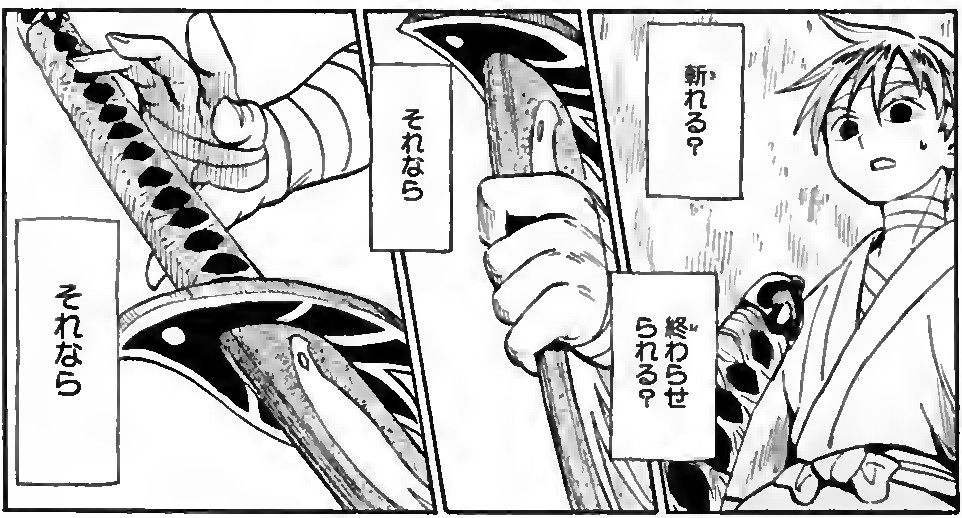
争いが

!!
狂神…!?
いや違う…
5人……
……
ゴゴゴゴ
!!
華寅様!?
千夜 奴らが神を狂わす者共だ!!
我が分霊も奴らにやられた!!
奴らが…
奴らに普通の攻撃は効かぬ
千夜

この剣を使え
これは…
時の完結を見し者の魂の剣
数多の時と次元に通じ奴らとも接触したことのある魂だ
これなら通じる可能性がある
そして妾の考えが正しければ
奴らはお前を狂わすことはできぬ

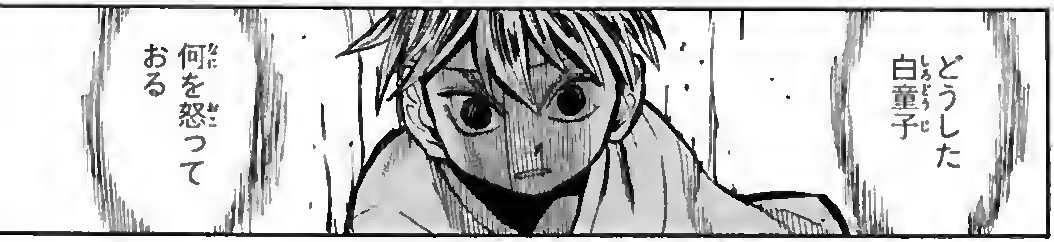
その剣を握った
お前だけが
唯一あの怪人達を
破れる可能性を秘めている


終わらせろ
奴らを斬って
争いに追われる
日々を!!


斬れる?
それなら
終わらせられる?
それなら

もう一度だけ
おれは兵器に
戻る
これで
最後だ
悪為す闇の
怪を断つ
あいつらが居るから…
月湖の村が…
華寅様の分霊が…
戦いたく
なかったのに
あいつらが
居るから…!!
あいつら
だけは
断
殺す!!!
怪!!

これは…!!
幽界の感じに似ている…
あいつらの世界に取り込まれた…!?


どうした白童子
何を怒っておる

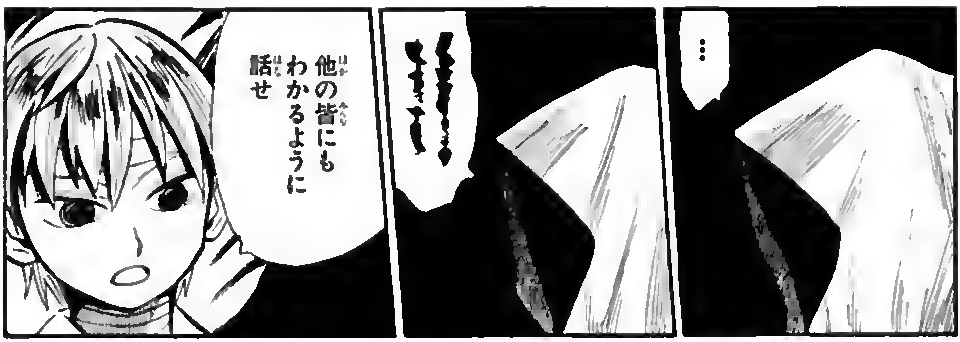
しょ…
将軍様!?
どこに…!?

憎むから喰われるのだ
自分を見失うな
逆に大きな愛で包み返してやれ
なあ
お主はどんな人間になりたい？
おれは……

おお!?
なんだこいつら!?
我らが友にして
王の客だぁ
歓迎して
やろうぜぇ!!
おれは
泣きたい時に
泣ける人に
そして

お前達の世界が
幽界に似てたから
逆に招待して
やったよ
ようこそ
魔神の肚へ
いつでも
笑える男に
対話をしよう
ここでなら
聞いてやる
お前達の
言い分を

土地神を狂神にして
おれを捜しけしかけてきた5人…
お前達の正体と目的
洗いざらい
話してもらおうか!!


…
他の皆にもわかるように話せ

ここに居る全員が
千夜だ

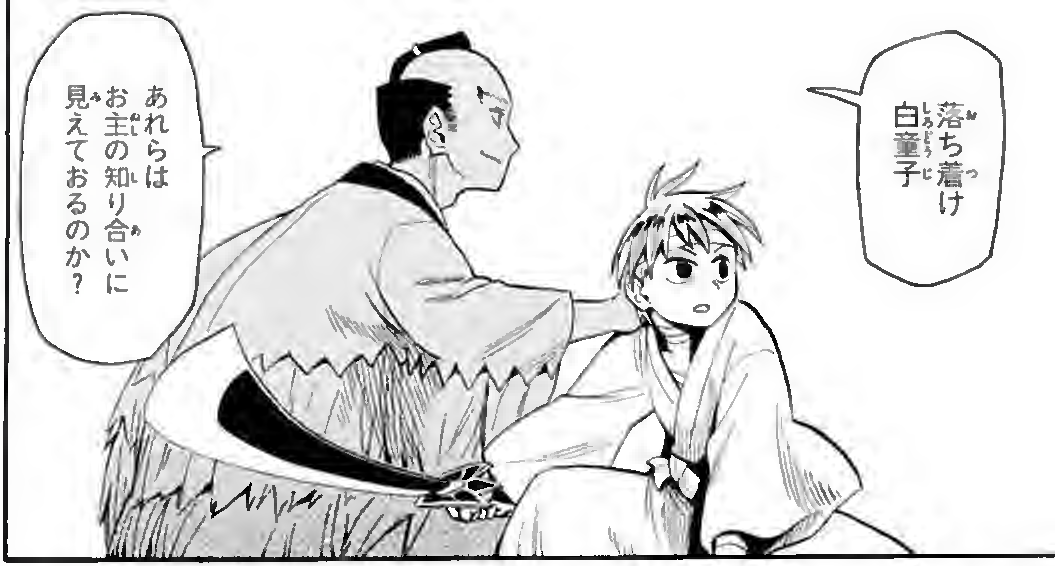
おお…!!
かぶっている布も取れ
顔も見せてもらおうか
…
!!
我々は
無の民

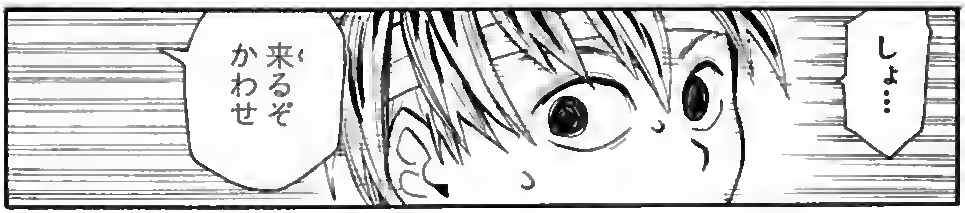
祖国救済の
大願果たすため!!

霊的特異点
千怪の生贄を
もらい受ける!!

おい あれ…
千夜と同じ髪…
銀髪の一族!?
しかも全員妖精眼だ!!
なっ……

……!!
あいつらの世界に押し戻された!?
くっ…闇達も置いて…
ドドド


落ち着け
白童子
あれらは
お主の知り合いに
見えておるのか？


しょ…
来るぞ
かわせ

わしには上泉伊勢守
他わしが認めた
手練達に見えるが
!!
強者の
幻術…!!
おそらく
あれらに強さを
与えているのは
お主自身の
強者への印象

いかなる勇者も
自身が認めた
最強の5人を同時に
相手取り
勝つ想像など
そうそうできまい

こちらも想像で
最強の虚像を
こさえたとしても
最強5人対一人
ではやはり
分が悪い

だが

お主は一人
ではなかろう?

でも今ここには
間違は…

幽界の
主導権も
奪われて…

わしも
居るだろう

振るえ

我が魂の刃

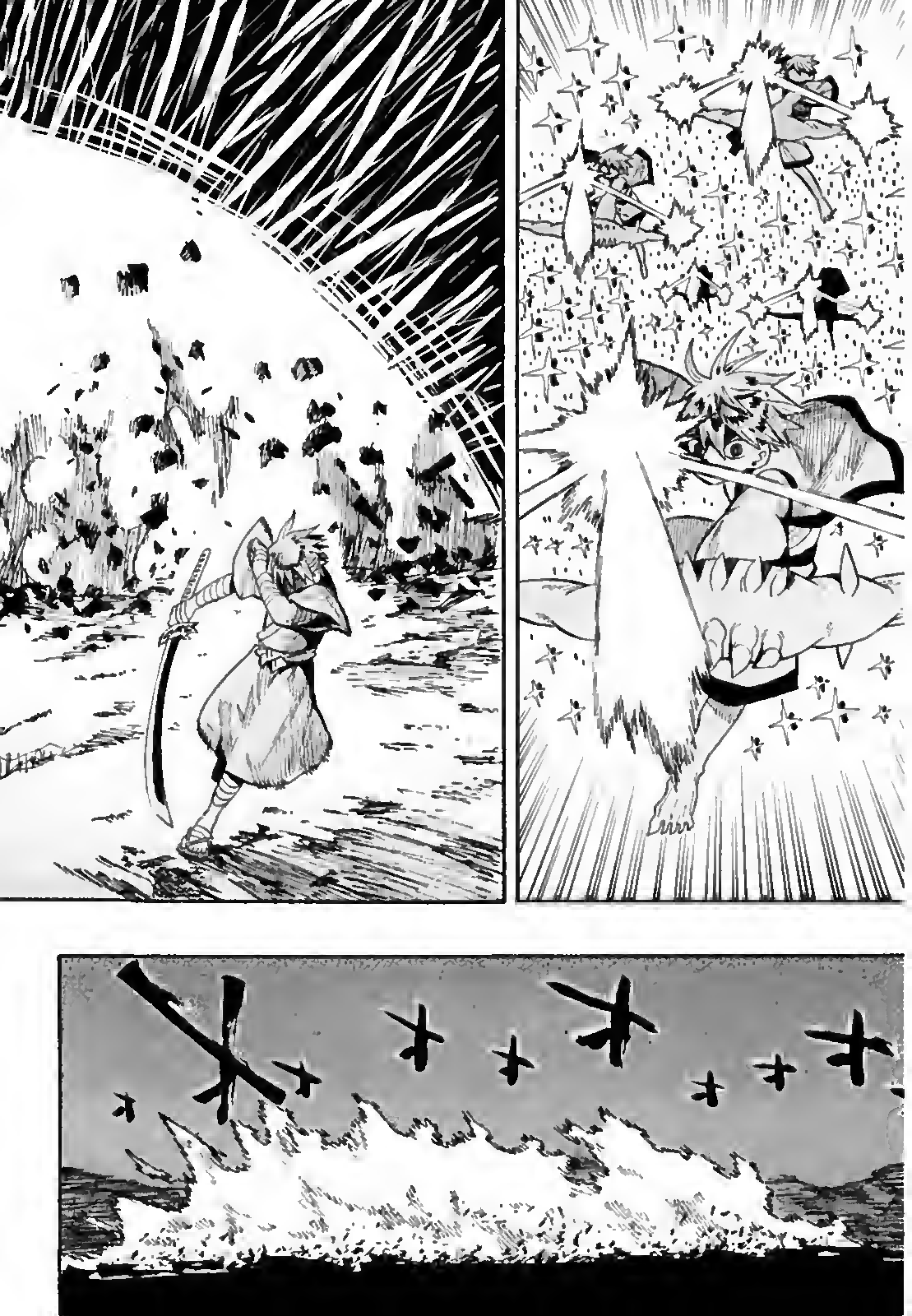
幽界をも斬り
拓いてみせよう!!

せいや
ああ
あ
あ!!

千夜ああ
皆来い!!
それぞれが思う「最強の者」の姿をとって!!
ここは幽界 好きな姿をとっていいはず!!
よしきたァ!!

全員
龍を倒した時の

……おれ!?



今までそうやって
最強同士の5対1で
戦って
精神世界の主導権を
取って狂わせて
きたんだろうけど
悪いな
ここでは
おれの方が
卑怯だった
おれと
将軍様と
闇達とで
1002対5だ
謙めろ

ズガッ
ズガッ
ズガッ
くっ…
あ
消えた!?
心折られたか…

……
……さすがは我らが子孫…大霊力との縁を強化された血脈
妖精眼が宿らなかった者でも戦い慣れればここまで力を扱えるか…

はァ?
しそんー?
なんなんだお前らは

我々は無の民
祖国はここより過去の時に在る

過去…？

今 祖国は
存亡の危機に
ある

我々は
その打開策を
幽界を介し
未来に求めた

そして見つけた
のが
千もの闇の命と
運命を一点に凝縮した
「千怪の宝玉」と

伝承を超えし獣
神話殺し「千本妖狐」

おれに埋め
込まれた
闇達の核と

山戸迅火

この2つの霊的特異点の
高密度の霊力と
運命力を利用すれば

祖国の破滅の運命を
捻じ曲げ救うことが
可能なはずだ

どういう
こった

過去なのに
今ってなんだ

過去を
変える
のか？

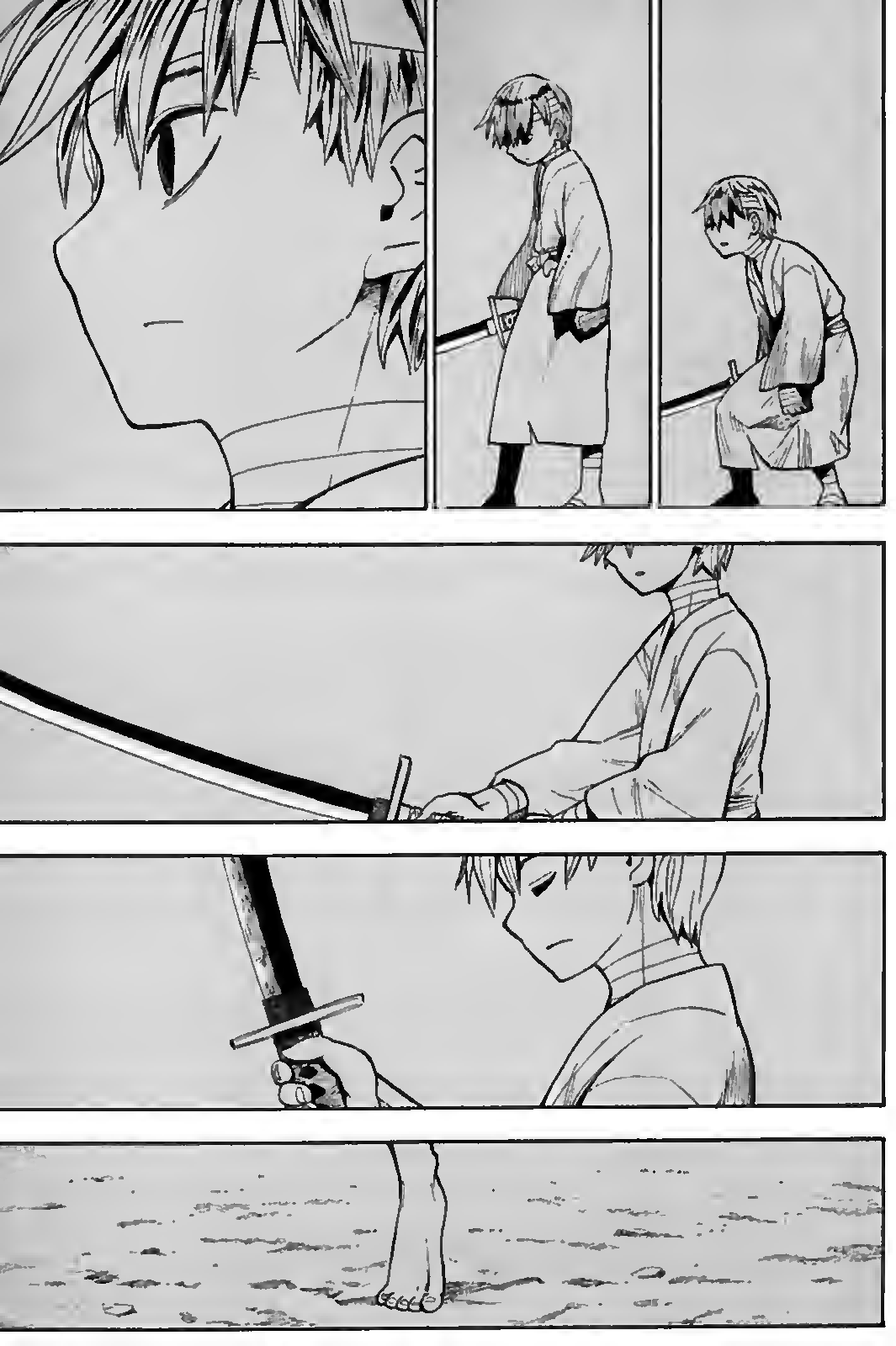
霊…特……
ってなんだ？

祖国を救う…？
銀髪の一族の先祖…
今回はようやく捜し当て追い詰めた特異点の保有者自身と
その特性を侮ったため敗れた
次なる策を講じてまた来るとしよう
我々はどんな手でも使う
さらば
逃がすか!!
逃げるさ
手を貸せ
千本妖狐

なっ!?
千本妖狐(せんぼんようこ)!?

ドドド

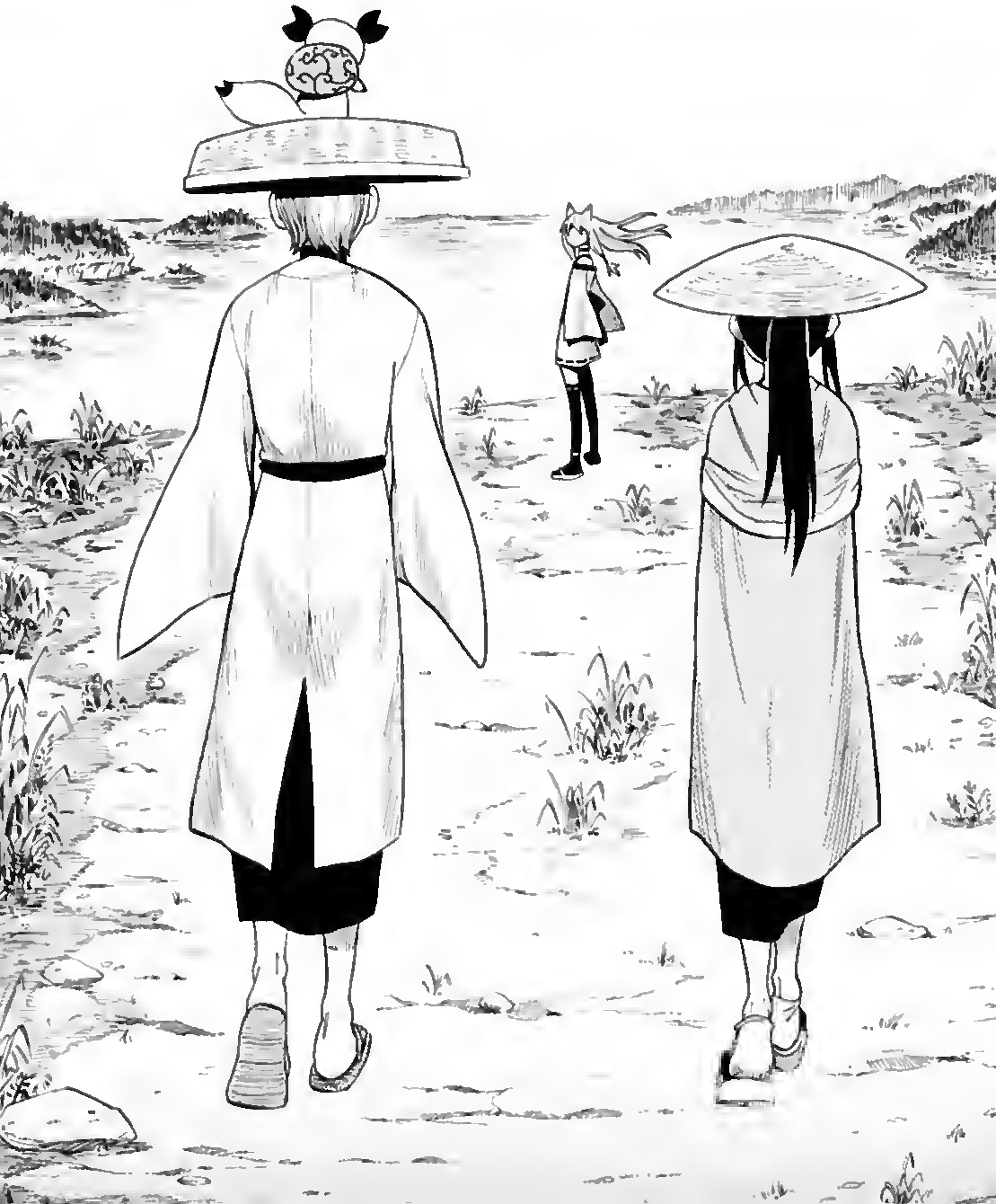
妖精眼に映る
運命力の濁流よ
我らを導け
次なる時へ
また会おう
待っ…



天

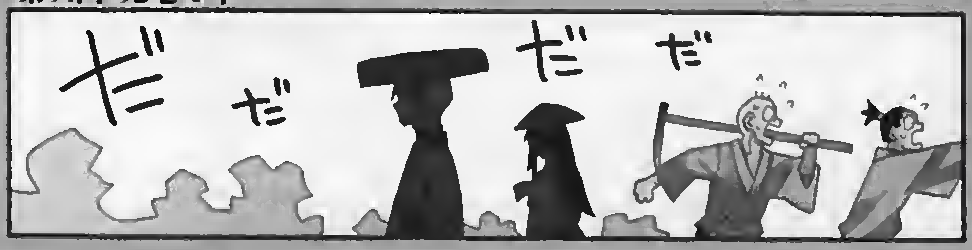
8年後

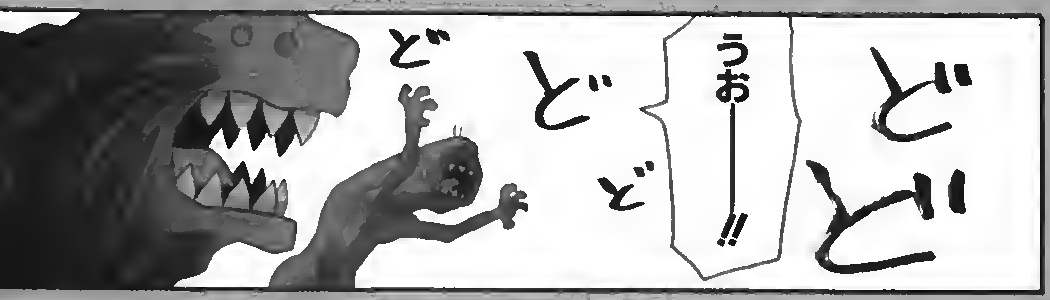
第53回 邂逅

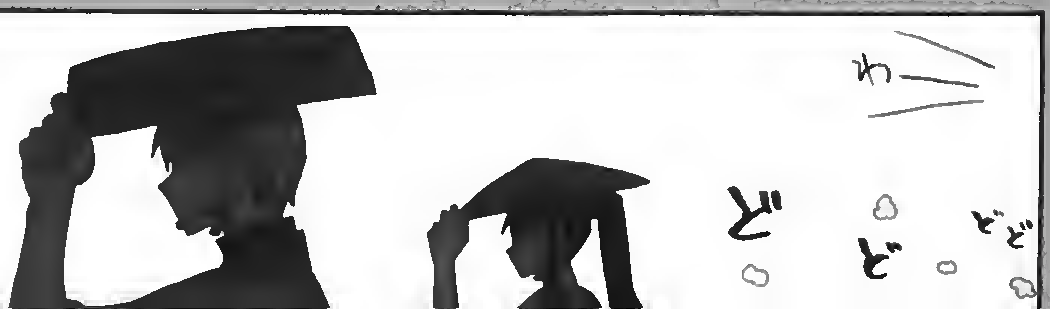


元亀4年
(1573)

第5回 元亀4年





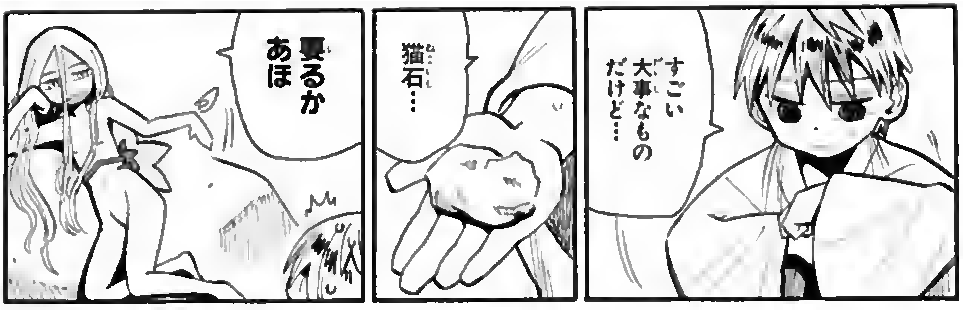


ズズズズ
ア…
ア…

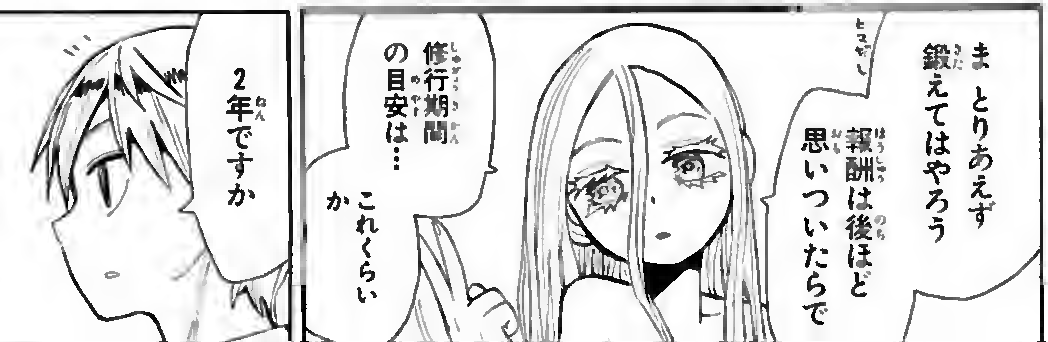
第54回 元亀4年

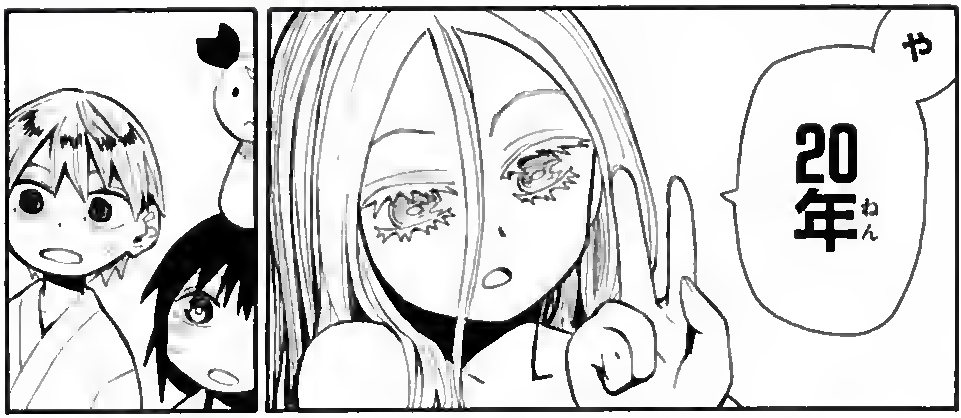
永禄8年
ほう
オオヤマツチヒメを
倒せるくらい
強くなりたい？
はい
封印されている
父上を助けたい
んです
ふむ…
で 月湖は
万軍斬り伏せる
ほど強くなりたいと
はい
軍からでも
守りたいものが
守れるように
華寅様
ご教授を
童は夢が
大きくて
いいなー…
……
ふーむ
で お前らは
妾に何を
くれるのだ？

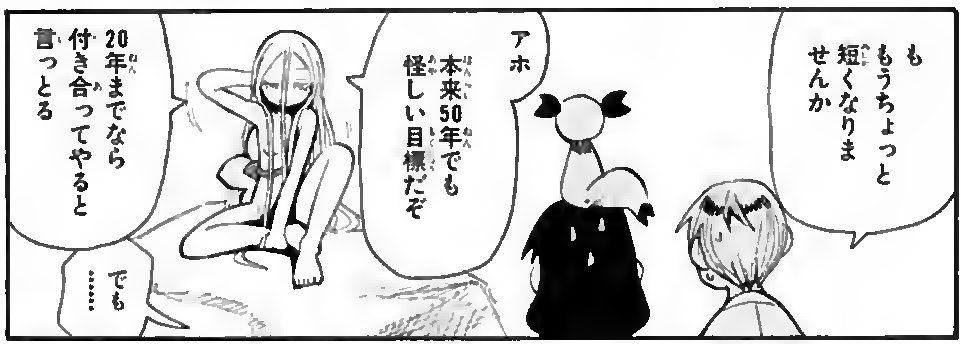
えっ
えっ
指導料だ
言っとくが金品
など要らぬぞ
まあ
魂も今は
間に合っとるが


すごい
大事なもの
だけど…
猫石…
要るか
あほ

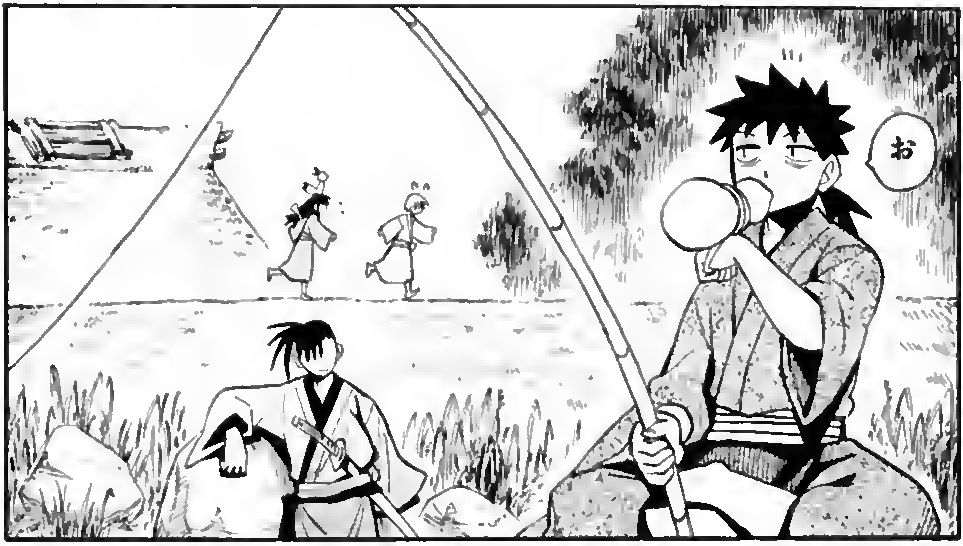
闇から
取り上げた
小刀…
おそれは
珍しい
…が欲しくは
ないな
べつに

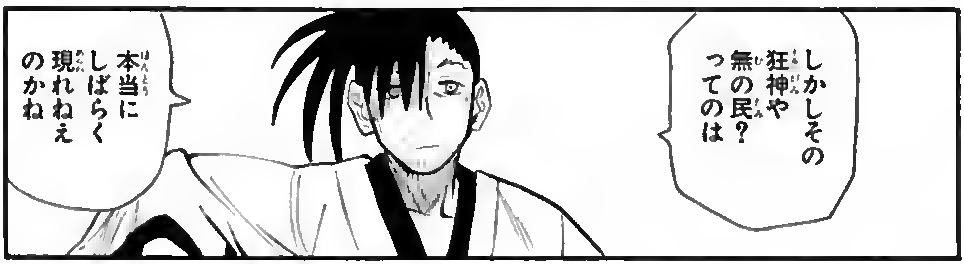

まとりあえず
鍛えてはやろう
報酬は後ほど
思いついたらで
修行期間
の目安は…
これくらい
か
2年ですか


や
20年


もうちょっと短くなりませんか
アホ
本来50年でも怪しい目標だぞ
でも……
20年までなら付き合ってやると言っとる

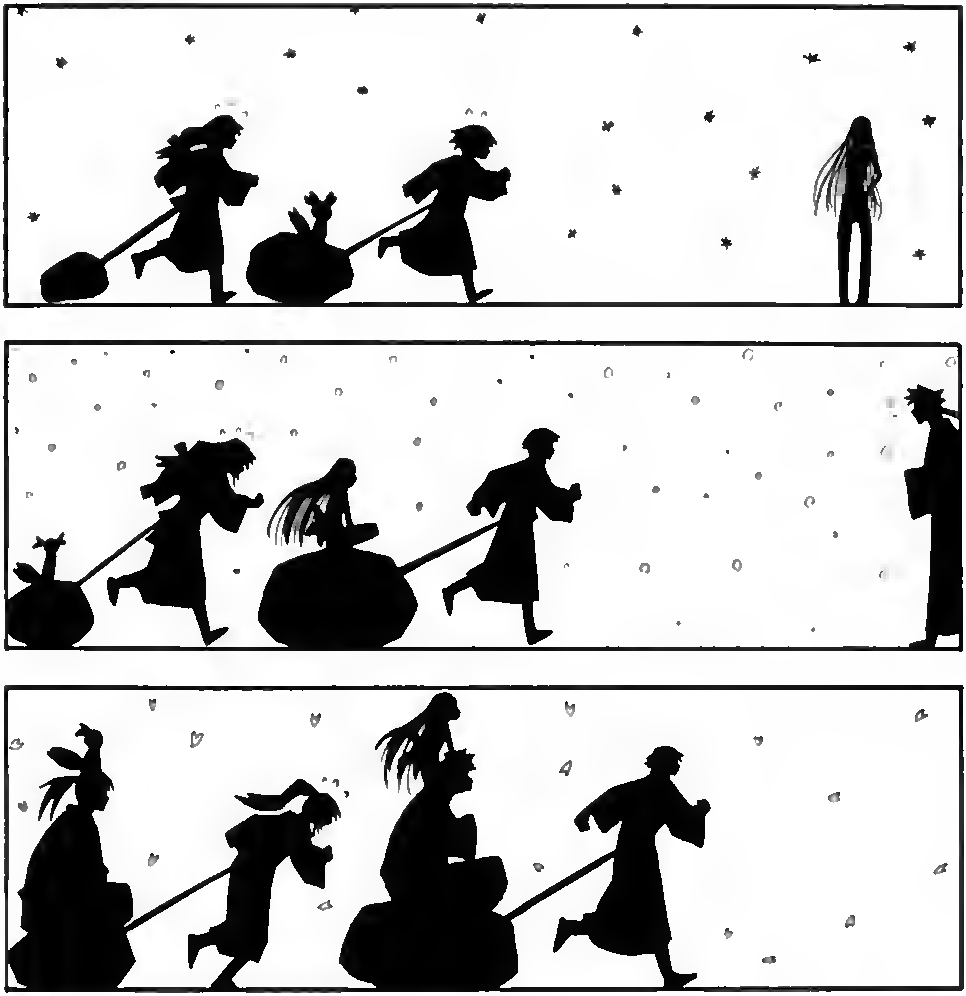
はい修行開始!!
村の周り30周走ってこい!!
ほら行け!!
肉体への信頼をひたすら作れ!!

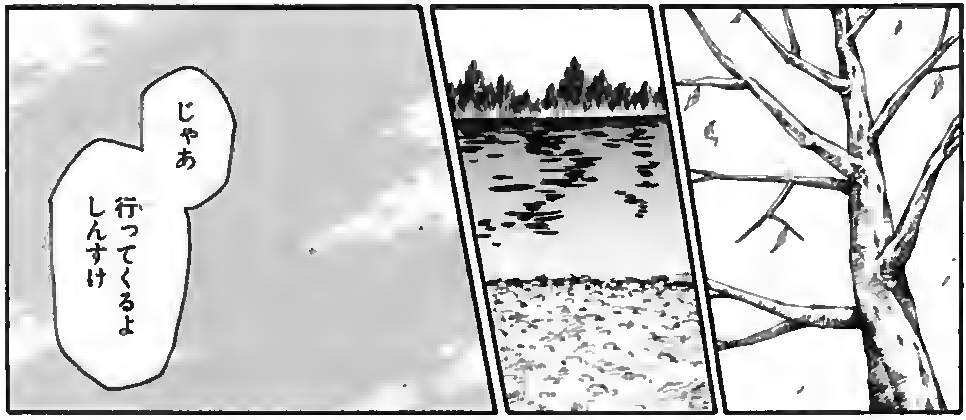

お


しかしその
狂神や
無の民？
ってのは
本当に
しばらく
現れねえ
のかね

千夜が幽界で
連中を撃退した時
「そういう手応え」みたい
なのを感じてんだから
まあ
そうなん
じゃねえの？
テキトー
だな
無の民と共に居た
千本妖狐…迅火は
8年後 とある場所に
突然現れる…と
たまからの手紙に
あったし
8年は大丈夫
と見た

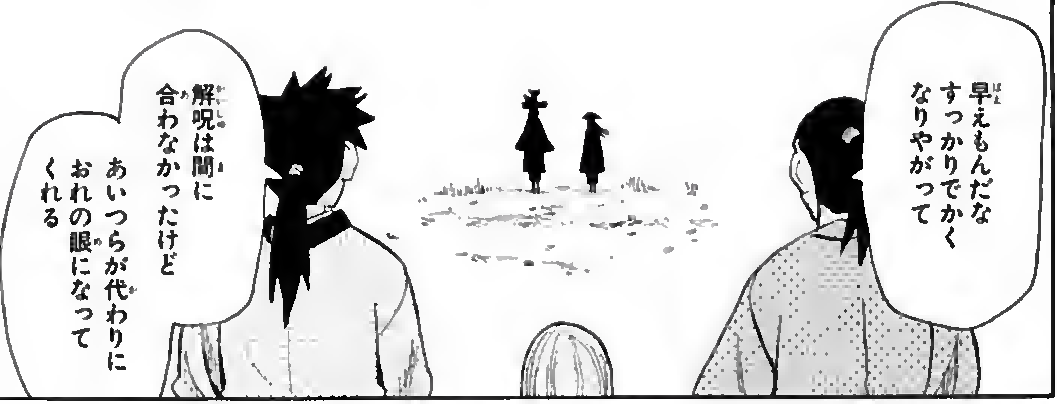
その たまの情報元の
八卦猫てのはアテに
なんのかね
さー
たまが言うん
だし なるん
じゃ？
テキトー
だな
8年…その間に
土地に縛られてる
のをなんとか
しねーとなあ…
おれァ術式は
わかんねーぜ
…おれも



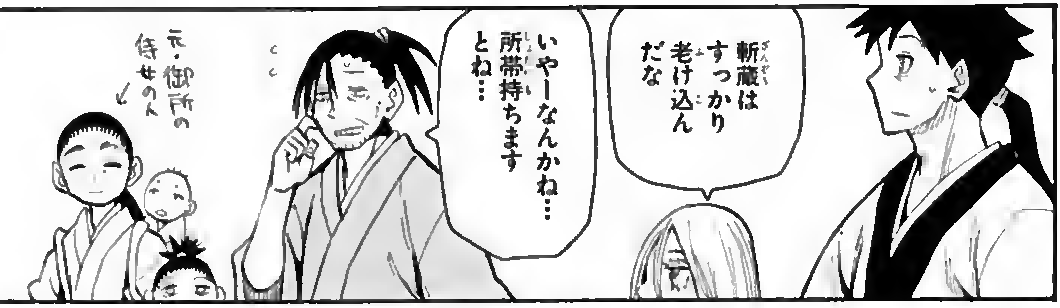

じゃあ
行ってくるよ
しんすけ

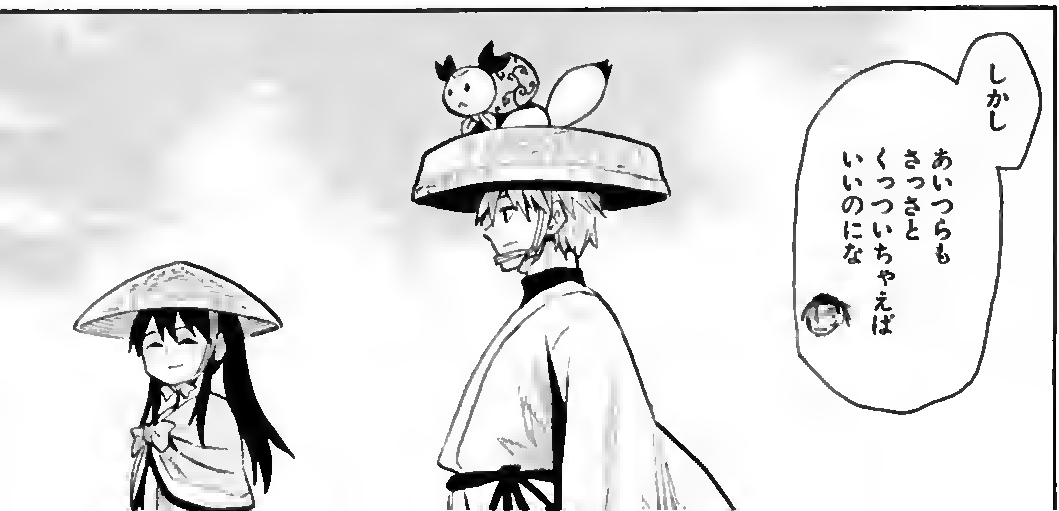
いってきます
一月以内には戻るから

おう
気ィつけて
たまによろしく
それと…
迅火にも会えたら…よろしく
全部任せろなう


早えもんだな
すっかりでかく
なりやがって
解呪は間に
合わなかったけど
あいつらが代わりに
おれの眼になって
くれる

頼もしいよ
しかし

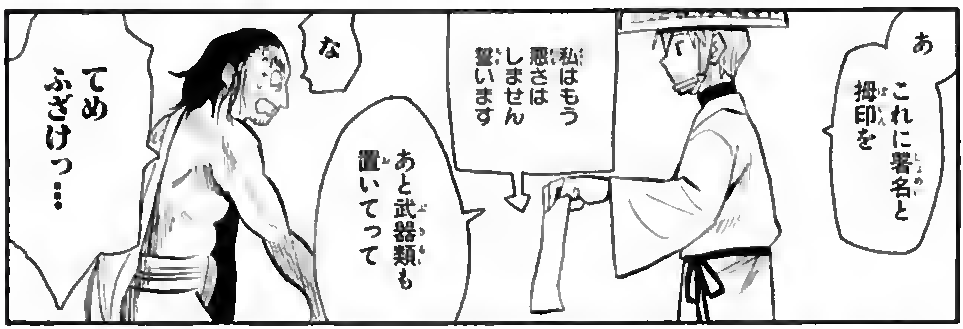

斬蔵は
すっかり
老け込んだな
いやーなんかね…
所帯持ちますとね…
元・御所の侍せのん

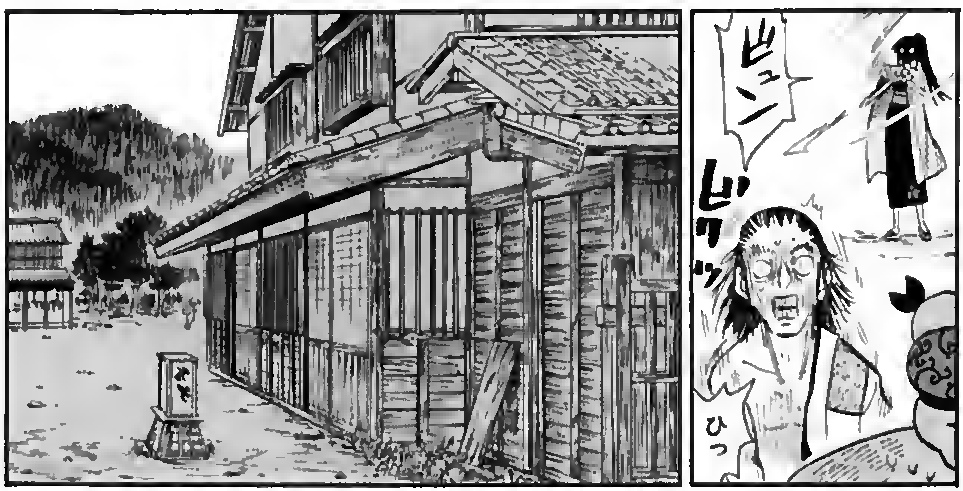

しかし
あいつらも
さっさと
くっついちゃえば
いいのにな

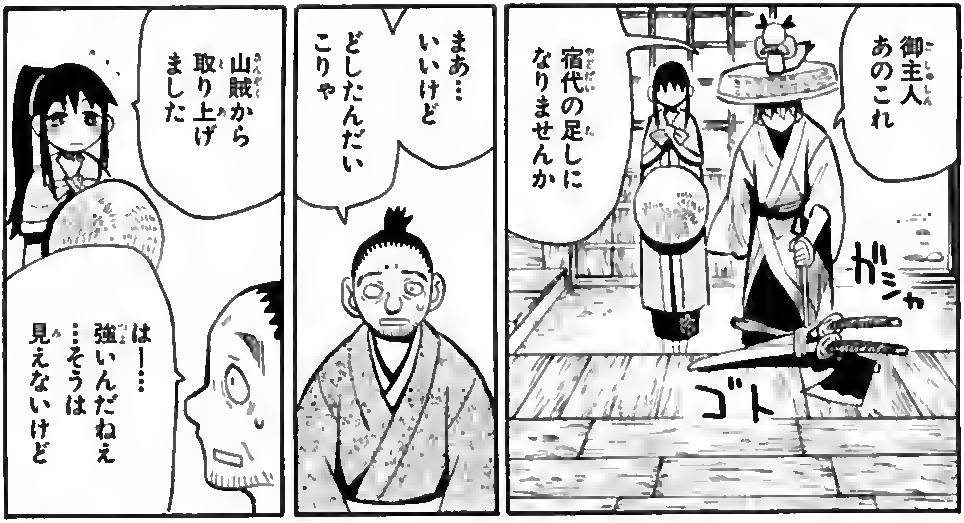
へっへっへ
いいの
着てるなァ
夫婦か？
おい
いい女

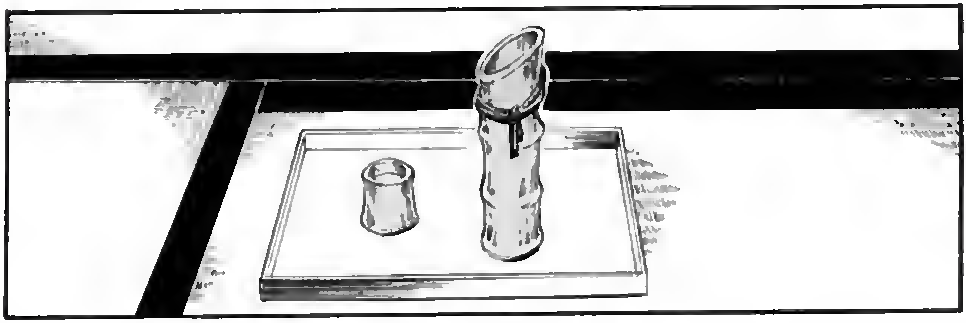
男は殺せ
女は売る
と
盗賊？
山だから
山賊かな
なに
ごちゃごちゃ
言っ…

バサ
バサ
ドスッ
バサ
バサ


あ
これに署名と
拇印を
私はもう
悪さは
しません
誓います
あと武器類も
置いてって
な
てめ
ふざけっ…


ビュン
ビッ
ひっ


御主人
あのこれ
宿代の足しに
なりませんか
ガシャ
ゴト
まあ…
いいけど
どしたんだい
こりゃ
山賊から
取り上げ
ました
はー…
強いんだねえ
…そうは
見えないけど



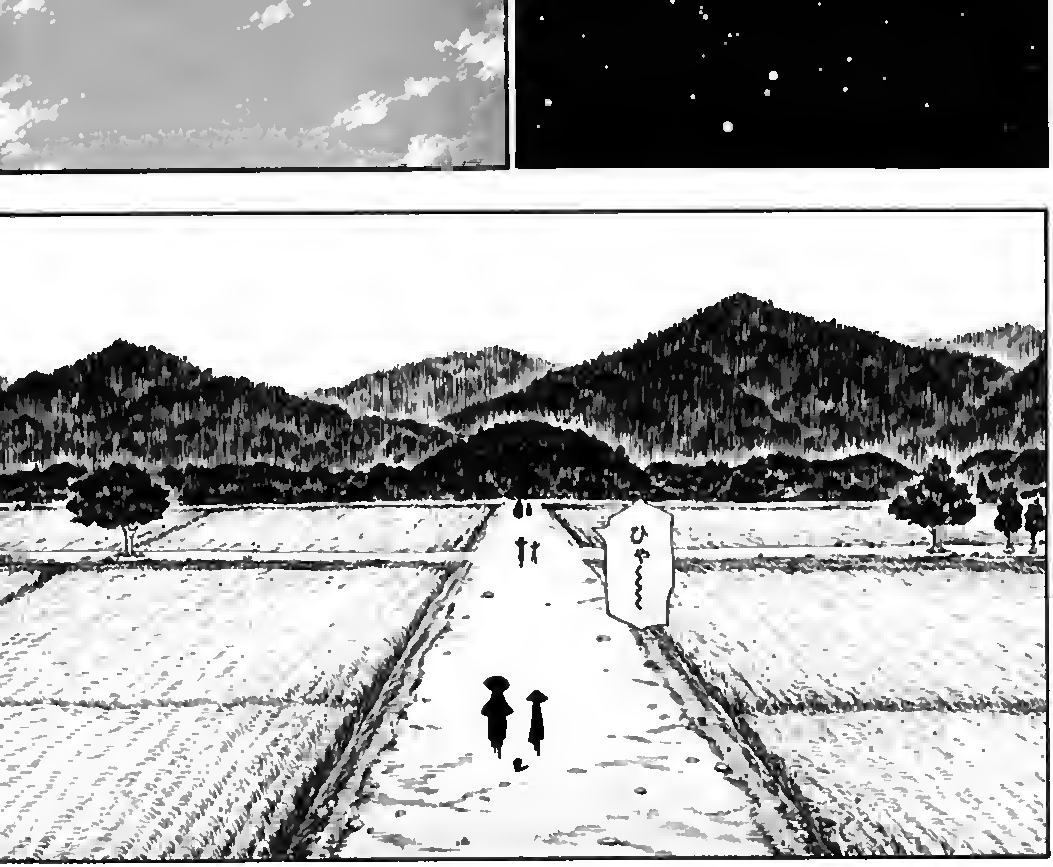
千夜
呑む？
や
おれは
いいよ
そう
うふふ
月湖呑むと
一人で笑うから
怖えしなう
しんすけ
みたいに
ならないと
いいけど…
うふふふふ

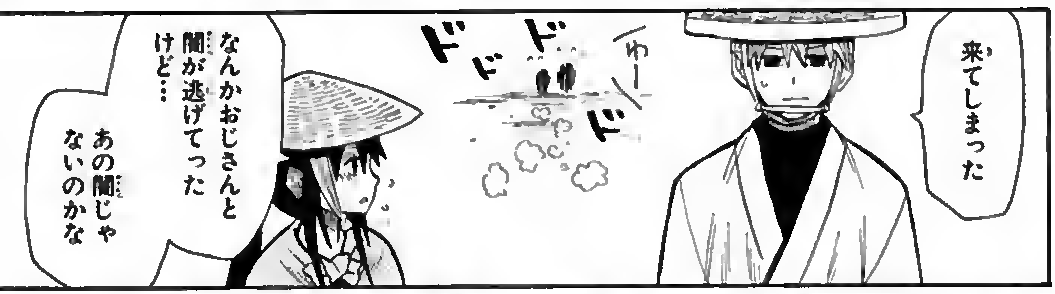
お客さん
もう一本
おつけしましょうか
タダで
トントン
え!?
たんでぇ
いや
あの…
へい
くださいし

これは独り言
なんだけどね
最近妙な化物が
近くの小山に
出るって噂でね
誰か腕の立つ人が
様子見てきて
くれんかなーって
村の皆で
話してたん
だよねぇ…
……

うーん…
飯もタダに
するなう
あと魚
つけろ
へい
喜んで

こらなう
なんか依頼受けた
みたいになっちゃった
じゃないか
どーせ
行くだろ
行ってみようよ
……


ひゃ〜〜〜


来てしまった
ゆ〜
ドドドド
なんかおじさんと
闇が逃げてった
けど…
あの闇じゃ
ないのかな

おっ
何か
居るぞ
ズズズ
…闇と…
呪術の
気配だ
行って
みよう
ハッ

！
あっちから来た…
……？
中に何か居る…？
ア…
ア…
あ――…
う――…？
タコなう

あ！
なんでこんな所に
！何か来た
荒吹の子
祓いの霊刀

しかし折れた風の剣を小刀にしたら雷の刀になるなんてな…

すげーなう

ズ

ズズ

でも雷に怯んでもいないな…

よし 次はおれが内側から追い払ってみる

き 気を付けて

幽界干渉!!

ひー
離してー
あの黒い手が呪いの本体か!!
え!?
千夜!?
なぜ…

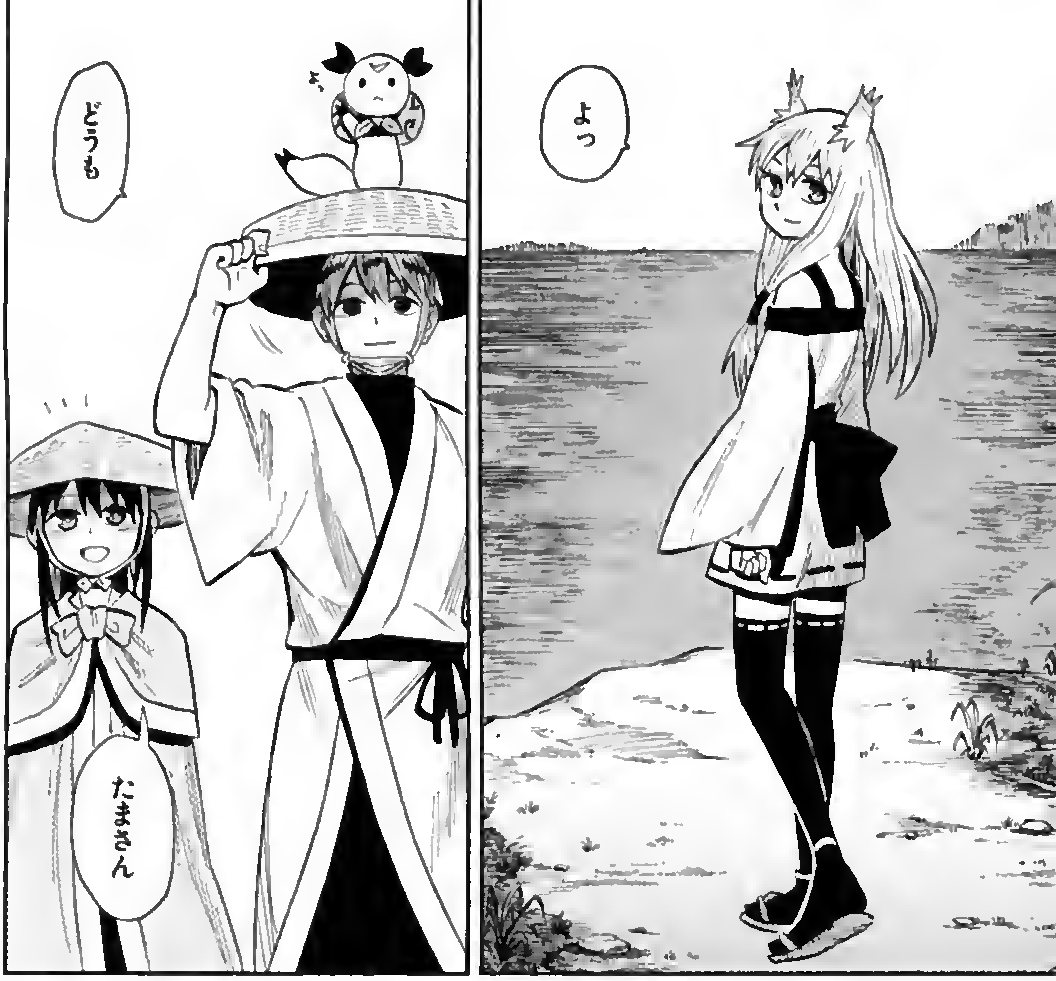
皆 総出で
呪いを追い祓え!!
よしきたァ!!

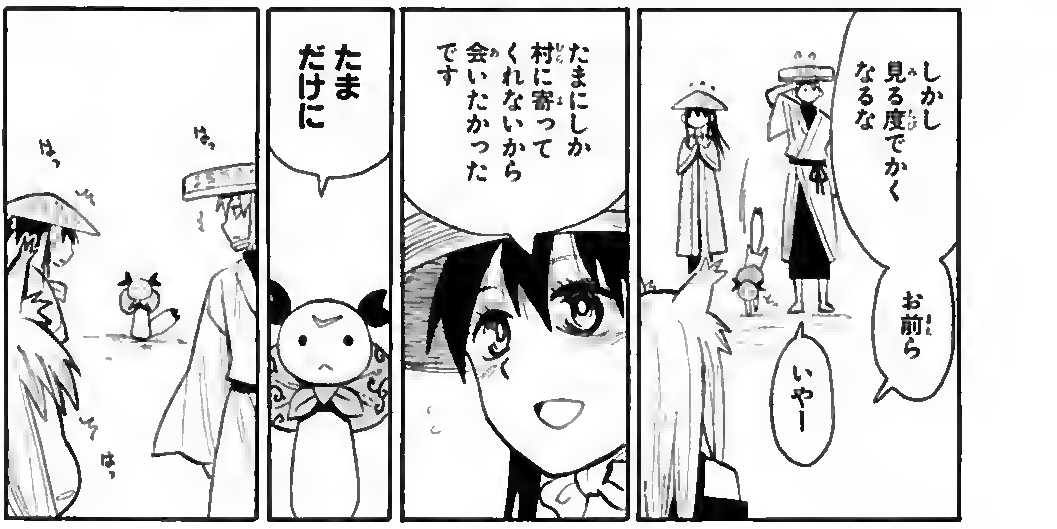
ドテッ
う
おれは何を…
はっそうだ確か…
打倒千夜のために呪術の研究をしていたら暴走して…
あれ？ない!!
長年貯め込んだ呪いが消え…
はっ

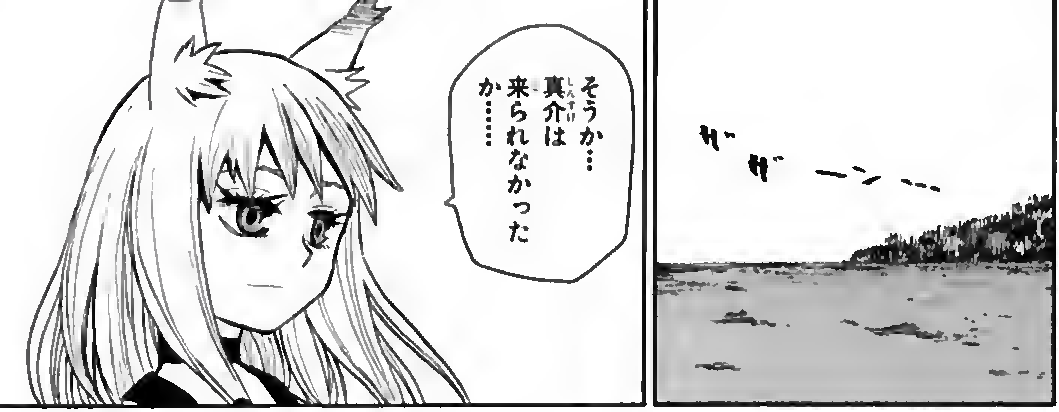
…えーと
久しぶり
なにやってたの
せ 千夜!?
なぜここに…
ていうか
デカっ!!
あれ?
さっきの
子供の姿
は…
夢?
幽界じゃ
あの姿だ
まだ中身は
子供なんだよ
なー
背だけ
伸びちまって
月湖と一線
越えられない
からだろ
へたれー
うるさいよ
今は一人?
ムドは?
知らねーよ
人間に武術
習うっつって
どっか行っち
まった
ま
それは
ともかく
おぼえ
てろよっ!!

変わらねーやつなう

……


よっ
どうも
たまさん


しかし見る度でかくなるな
お前ら
いやー
たまにしか村に寄ってくれないから会いたかったです
たまだけに
はっ


そうか…
真介は
来られなかったか……

はい
だから代わりに
見てきてくれって…
うむ
お前も浅からぬ
因縁あるようだしな…
無の民と
霊的特異点
……だったか

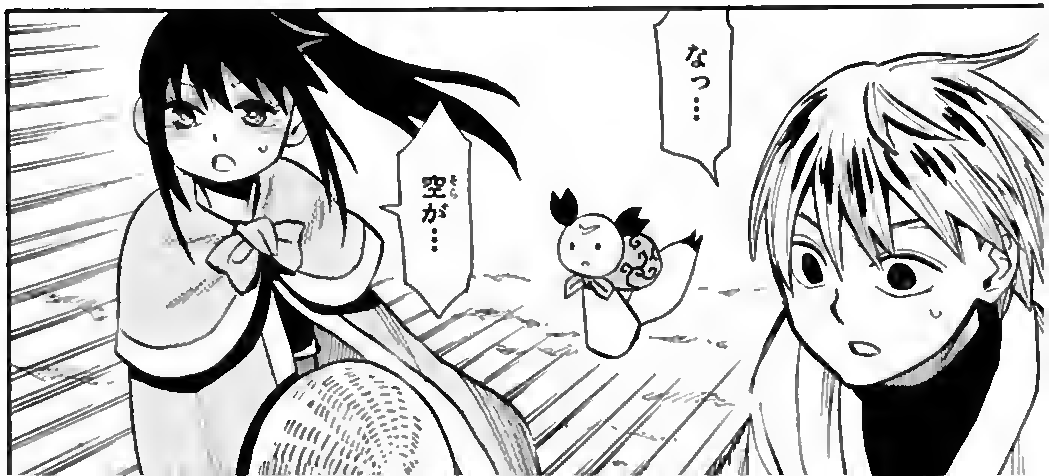
でも
本当に今日
ここに現れる
んでしょうか
迅火さんと
無の民は
それに…なんで
こんなに時が
空いたん
でしょうね？

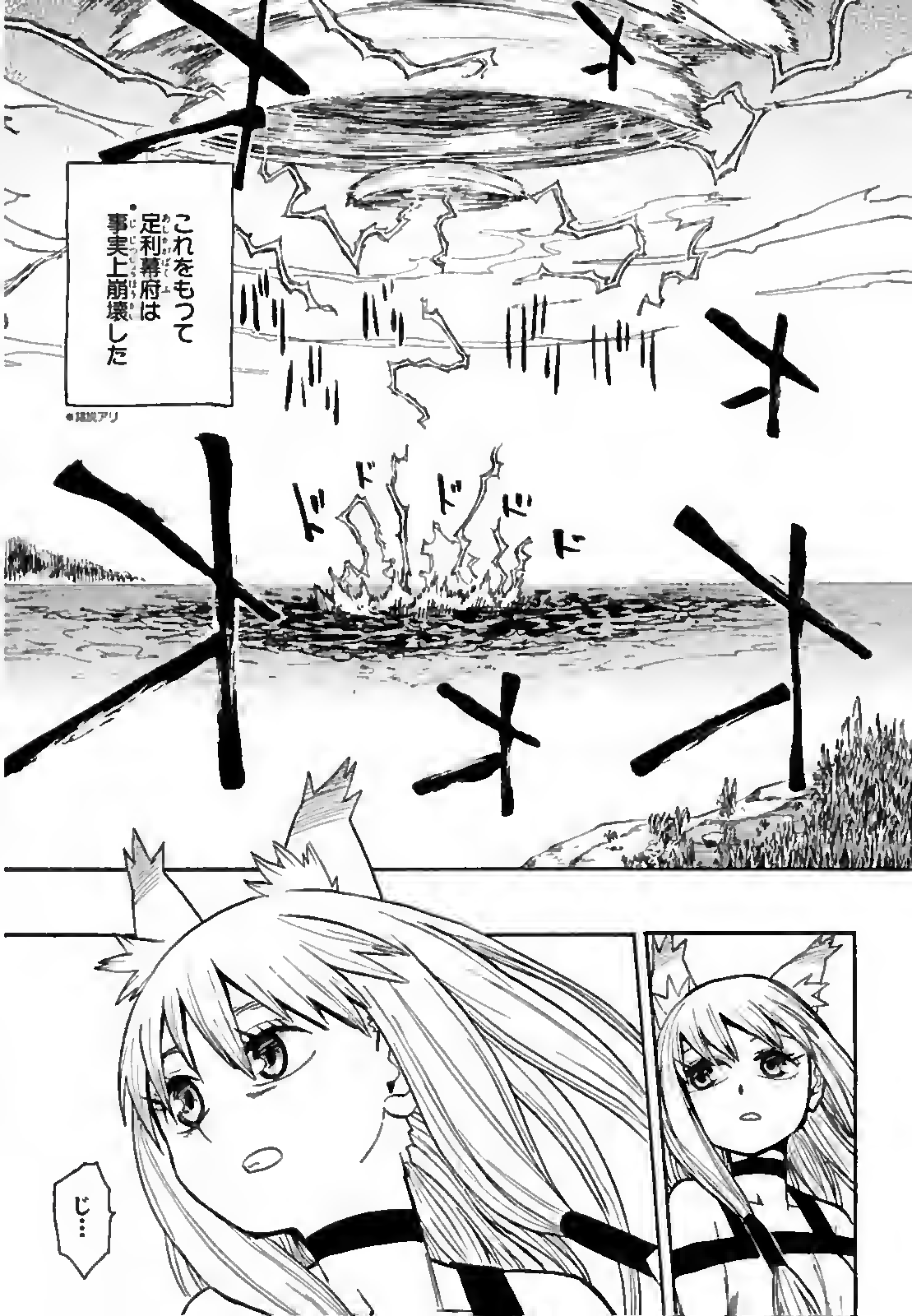
会えると…
ピシッ

いや…
信じ
たいのか

さあな
八卦猫によると
時代の変わり目
だから…らしいが
ま 奴の占いが
確かならな
…おれは
信じてるが

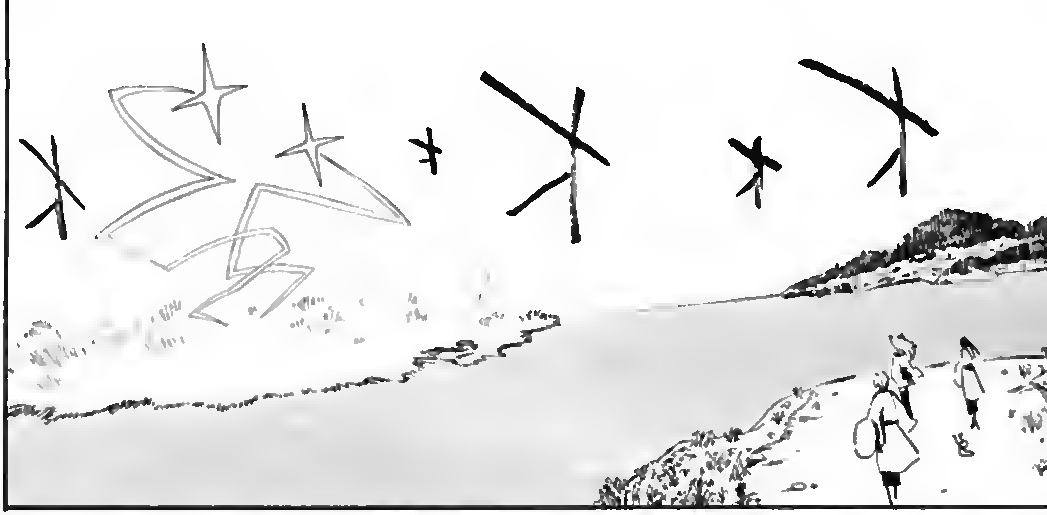
元亀4年(1573)
7月
足利家最後の将軍 足利義昭 京都追放

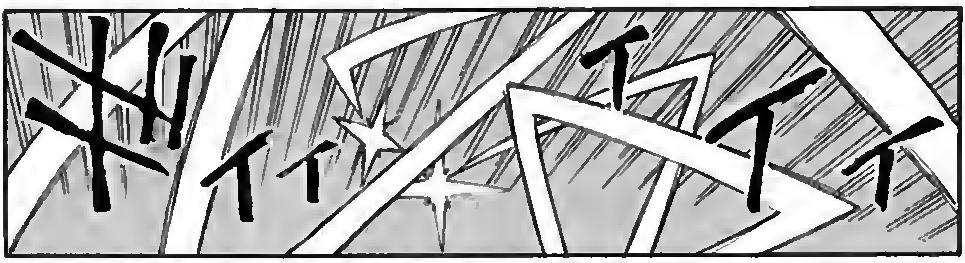

なっ…
空が…


これをもって
足利幕府は
事実上崩壊した
※諸説アリ
ドドドドドド
じ…

剣豪将軍
足利義輝の
最期の戦いから
8年後の
ことであった
迅火!!

……
第55回 結界島
キラッ
キラッ
……なんだ…!?
あれは……



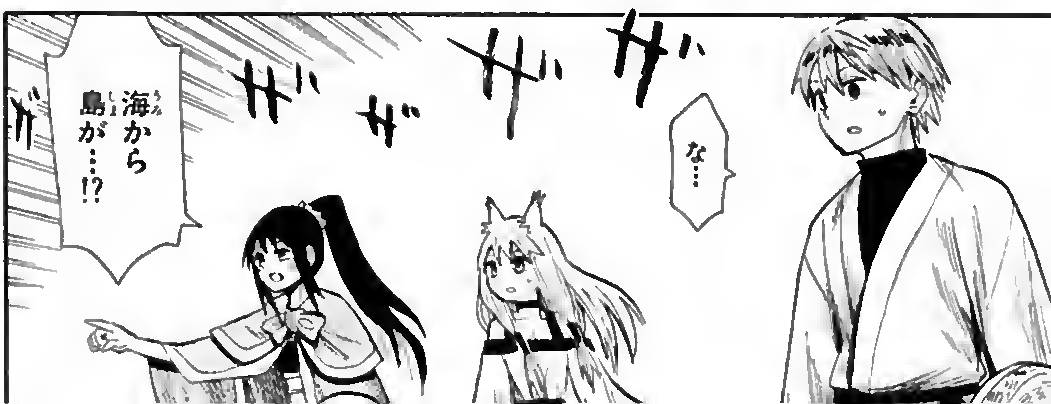


？
何…？
光が2つ…
何か戦ってるなう
バカな…
あんな海上で
何が…

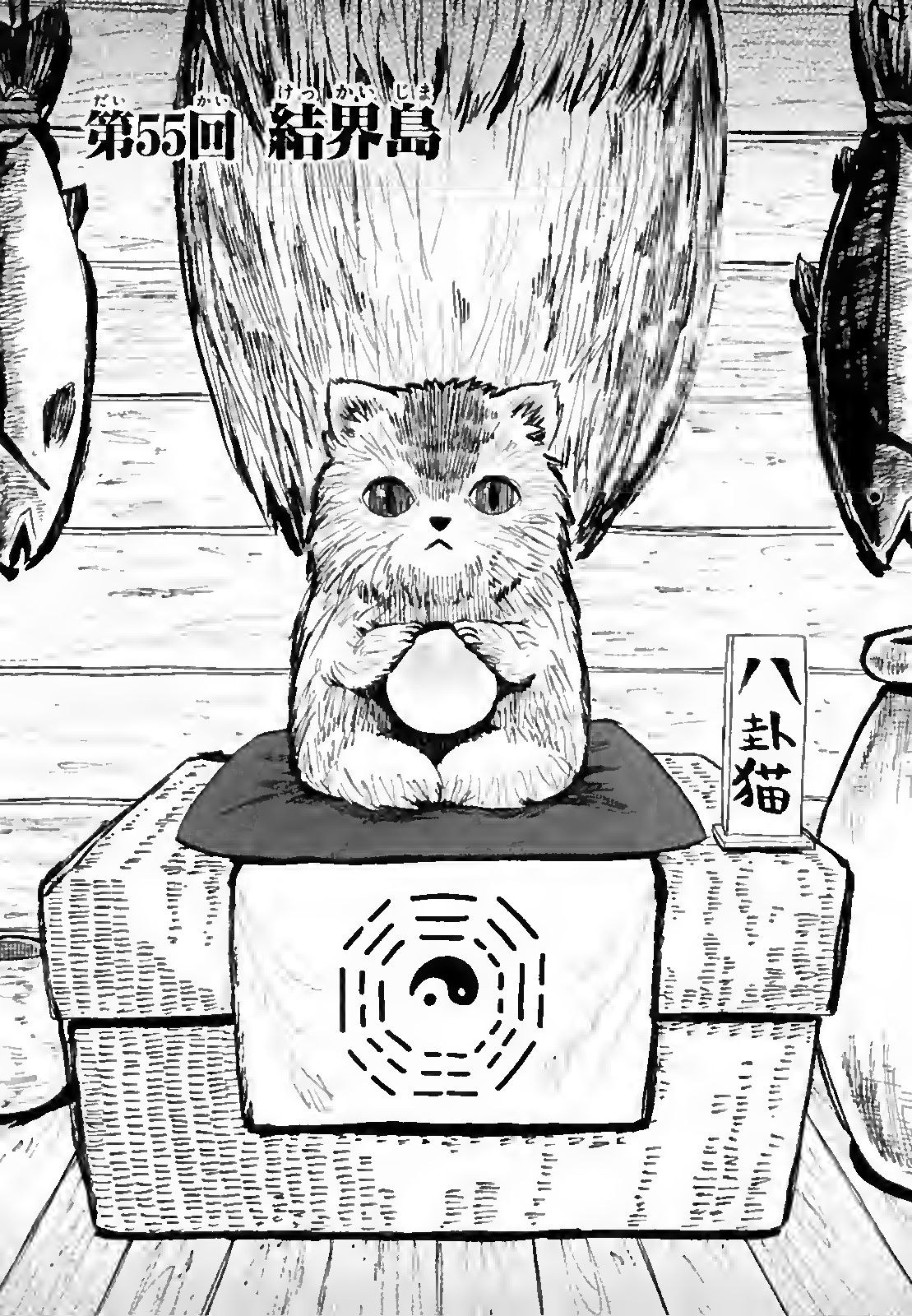
片方は
千本妖狐と…
ゴォ
……!!

あの霊格…
ここ一帯の
海神だ…!!
迅火が
海神を…

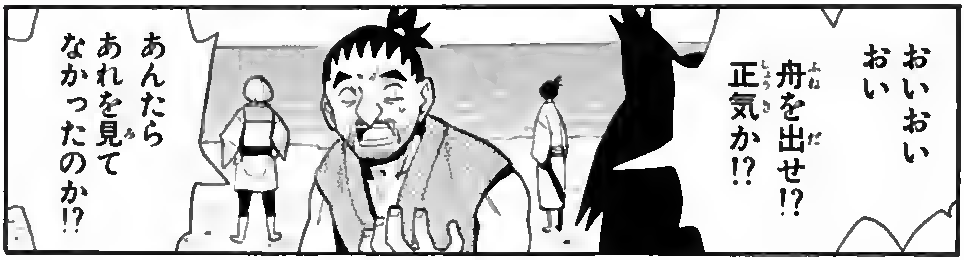
海神を…
喰った…!!


な…
海から島が…!?

第55回　結界島



なんだ
なんだ?
おそろしや
おそろしや
海神さまの
たたりじゃ
ざわ
ざわ


おいおい
おい
舟を出せ!?
正気か!?
あんたら
あれを見て
なかったのか!?

空が割れて!!
スゲー音立てて!!
島がいきなり
現れたんだぞ!?
あんな
ワケわかんねーとこ
怖くて行けるか!!

それはそうだろうなぁ…
では これでどうだ
あー
シャッ
!?
き
金!?

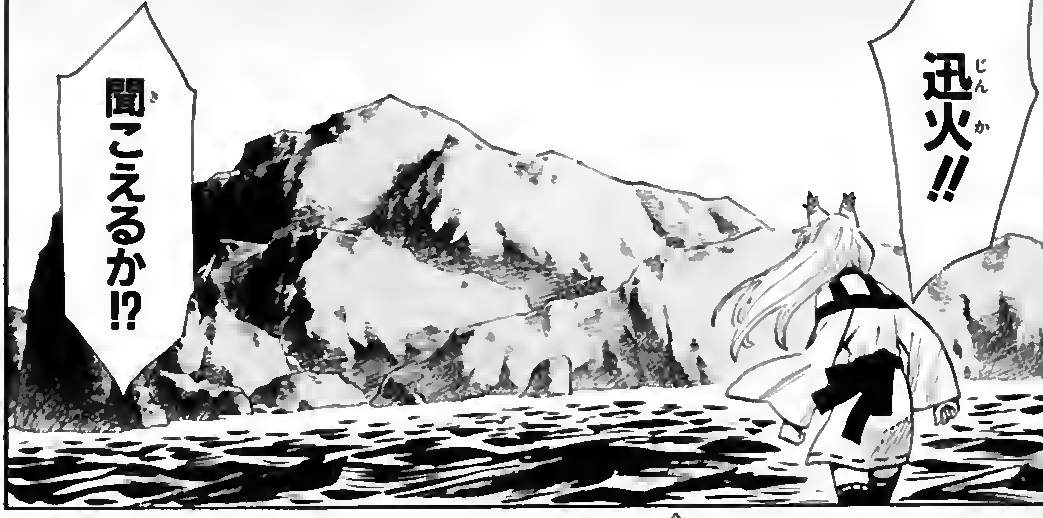
ちょ それ幻術…
しっ!!
もがっ
あんたら一体…!?
もう一枚やるから詮索するな 舟を出すか?
へへい

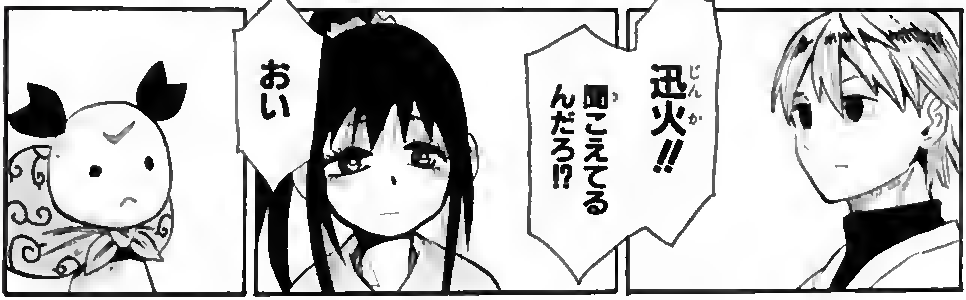
あの 立たない方が…
かっこいい…

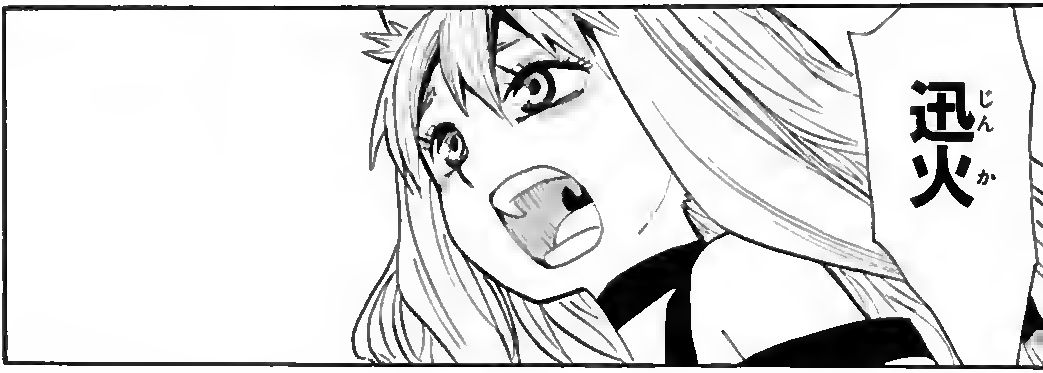
ゴゴゴゴゴ

ああ
なんだァ!?
これ以上
進まない…!?
ギッ
島の大きさの
見え方が変だ…
空間が歪んでる
……?
それより
この結界…
大量の霊気で
編まれた純粋に
強く厚いカベだ…
単純な分
隙がない…!!
パチ
パチパチ

ゴゴゴゴゴ
迅火!!
おれだ
姿を見せろ!!


迅火!!
聞こえるか!?


迅火!!
聞こえてるんだろ!?
おい


迅火

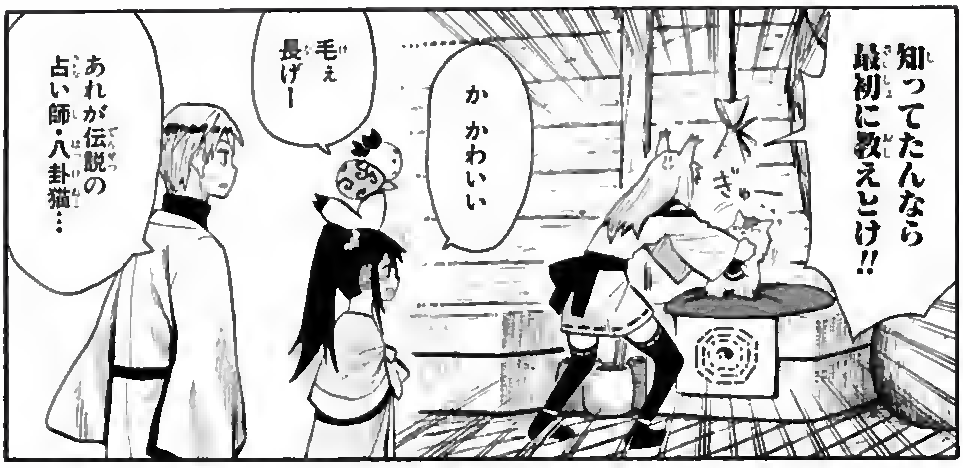
聞こえろ…

け 結界って
破れないの？
……
難しいな…
強力すぎる

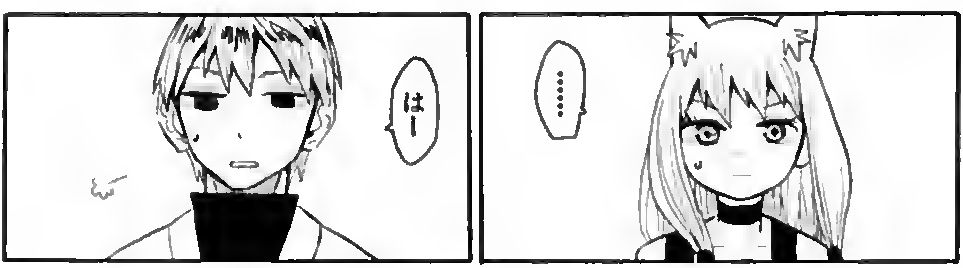
無の民…姿は
見てないけど
山戸迅火と
居るはず…
いつ仕掛けて
来る…？

よし
次はあそこへ
行く
二人とも
一緒に来い
近くだ

お前達が
千本妖狐の結界を
破る方法を聞きに
ここに来るということは
視えてたにゃ
はっけはっけ


知ってたんなら
最初に教えとけ!!
ぎゃー
かかわいい
毛ぇ長げー
あれが伝説の
占い師・八卦猫…

離せにゃ
そもそも
聞きにくるほどの
ことじゃないにゃ
なに?
単純な結界の
破り方は
単純にゃ


……
はー

それが無理だから
聞きにきたと
いうのに…
えっと…
どゆこと?

結界の強度を
上回る霊力で
叩いて
壊せば破れる
ってこと
攻二〇〇
バリーン
単純
えー
単純だが
簡単ではない
丞火は海神の
霊力をも喰って
あの結界を
作っている
あれを破るには
分霊ではない
大土地神級の
霊力が要る
そして土地に縛られて
いる土地神は海上に
連れ出せない
……
華寅様を
村に移動させた
方法は？
いや…
海の上には
ちょっとな…
……
う――――ん…

あ
結界といえば
しんすけ先生達を
村の結界から
解放する方法って
ありませんか？
ほっとくにゃ
じきに解決
するから
ほっけ
ほっけ
なるべく
早めがいい
んだけど
しんすけを
山戸迅火に
会わせて
あげたいんだ
大丈夫にゃ
……
…ひとまず
出るか
あー
邪魔したな
八卦猫
待つにゃ
も少しここに
居るにゃ
？

…おい
いつまで
居れば
いい
もう
ここに用は
ないんだが
も少し
にゃ

…

あの
なんで千夜
だけ外で…

用心棒
だにゃ
アレが来たら
応対してもらう
にゃん
！
誰か来た…
……
…アレ
とは？

なんてこった
あれが刺身鉄
鉛の塔がよく聞こえる
おお
くじら雲が板がい
出てきて犬とぼと
鳴いている
金の上で
いびきをかいて
見開いている
狂神(くるいがみ)

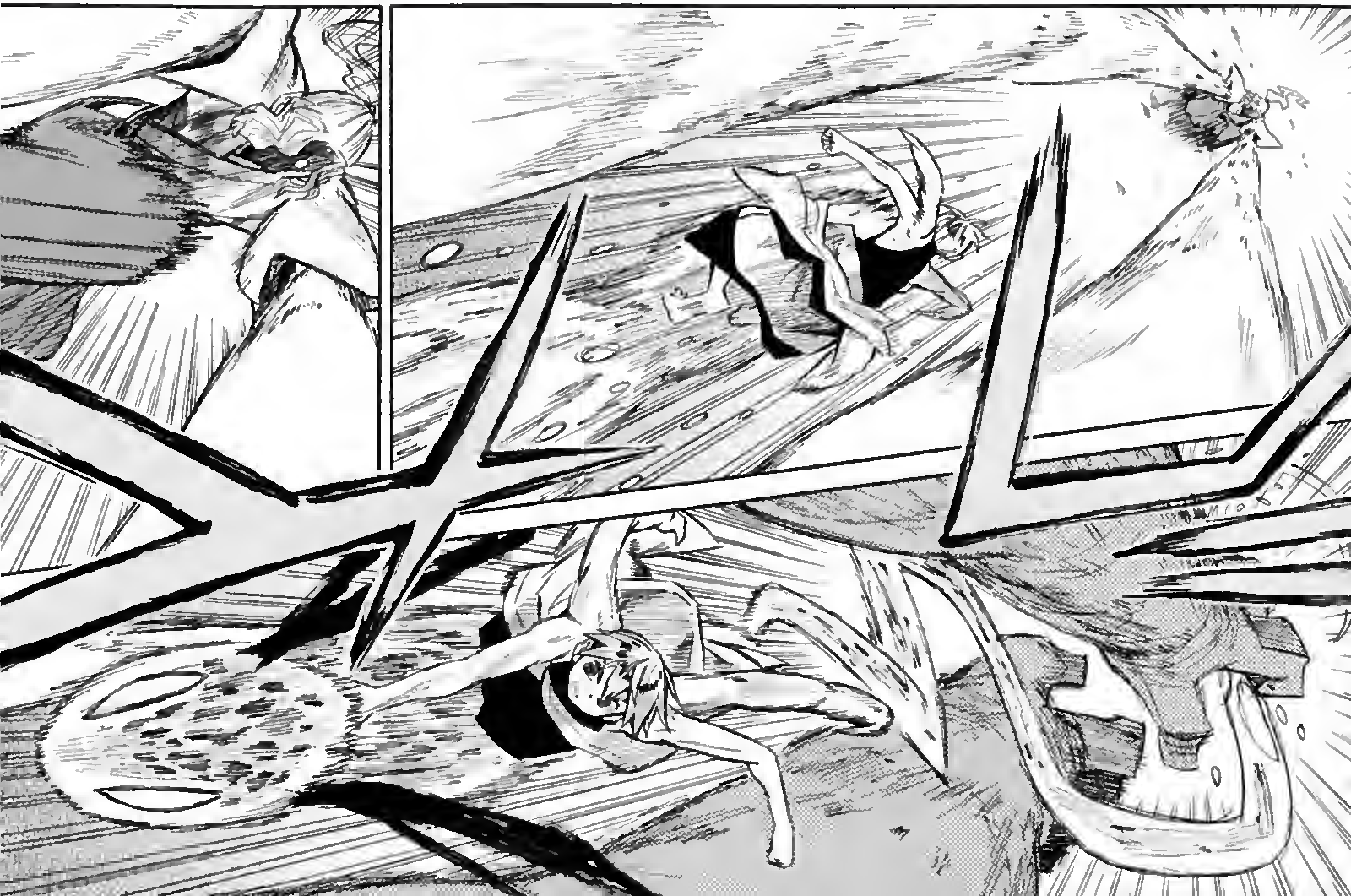
もう仕掛けてきたのか無の民…!!
そしていつもと同じ手とは…
ズニニ
な…!!
月湖の村に来た狂神や華寅様の分霊とはケタ外れの霊気…!!
……そしておれはこの霊気を知っている気がする…!!

待つにゃ
行けば全員
死ぬにゃ
！
千夜の
足手まとい
だにゃ
くっ…
足手
まとい…
そんな…
守りたいものを
守るために…
あたしは…
それはまだ
先のことだにゃ
え？
それは…
おい
おれさまも
足手まといか
なう
ちっこい水神は
すぐ行くにゃ
池の水を
使うにゃ
おう
ザッ
……

やっぱり
そうだ
この霊気…!!
小さい頃
断怪衆本山で
感じたことの
ある気配…!!
なんでこんな
所に…!?
泰山様!!
!!

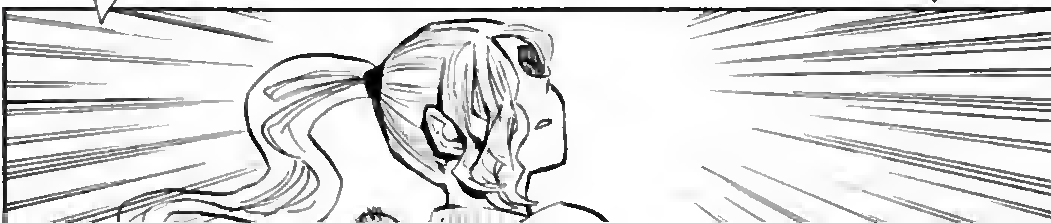
なう!!
助かった!!
懐に
飛び込む
なう
頼む

今の千夜なら
ああ
今のおれなら



捕えた!!

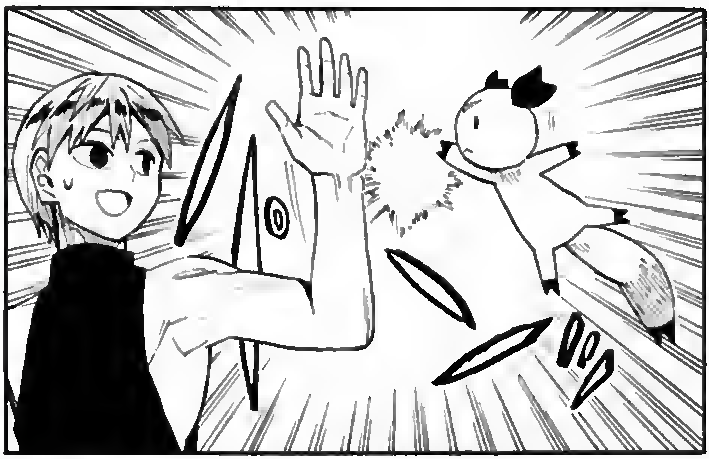
今のおれなら…
幽界
干渉!!
殺さずに…!!



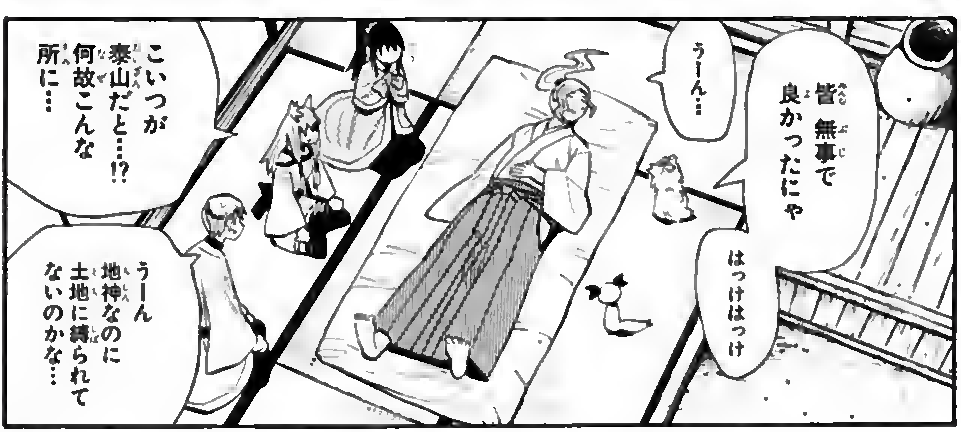
行け
千夜!!
あ

えーと
助けてあげて
うりゃーー!!
出番だー!!
無の民!!

狂神を解放する術とは…
たまたま近くを強力な地神が歩いていたから狂神にしたが
とりあえず今回のはあいさつがわりだ
また会おう



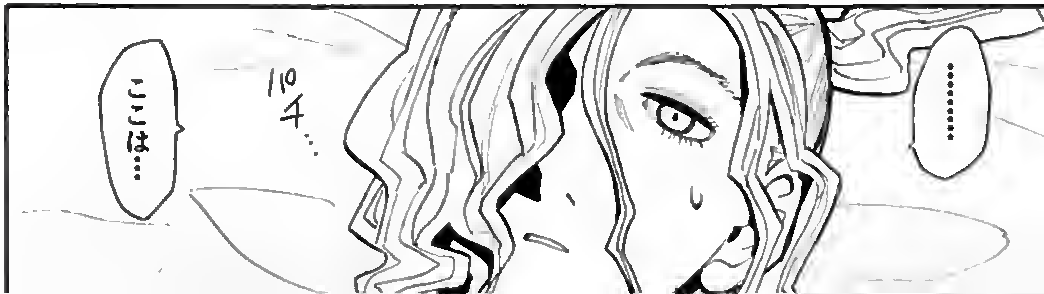
スッ…
どさっ


皆無事で良かったにゃ
うーん…
はっけはっけ
こいつが泰山だと…!?何故こんな所に…
うーん地神なのに土地に縛られてないのかな…

この人だったらあの結界破れないでしょうか
まだちょっと足りないにゃ
しかし随分変わったな
ザー
山の神に蹴飛ばされて縮んだか？

……

りんずだ!!
りんずの魂奇せなら
山の神をどこへでも動かせる!!
ドバーン!!


……
ここは…

戦国妖狐

戦国妖狐

おいでませ!!
オオヤマミツチヒメ!!

りんずだ!!
りんずの魂宿せなら
山の神をどこへでも動かせる!!

第56回 予言

まぶいよせ…?
契約者を術者の近くに瞬間移動させる超高等霊術だ

山の神オオヤマミツチヒメ…
協力するでしょうか

わからん…しかし山の神なら迅火の結界を破れるはず
とにかく話をつけに行ってみるしかないな

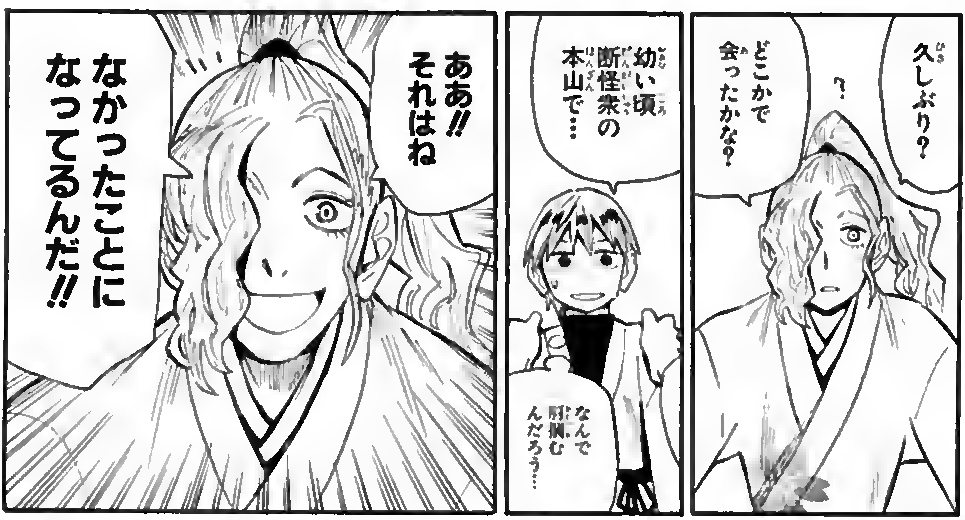
ちょっといいかにゃ

泰山が起きたにゃ
！
ここは…
ぼくは一体何を…

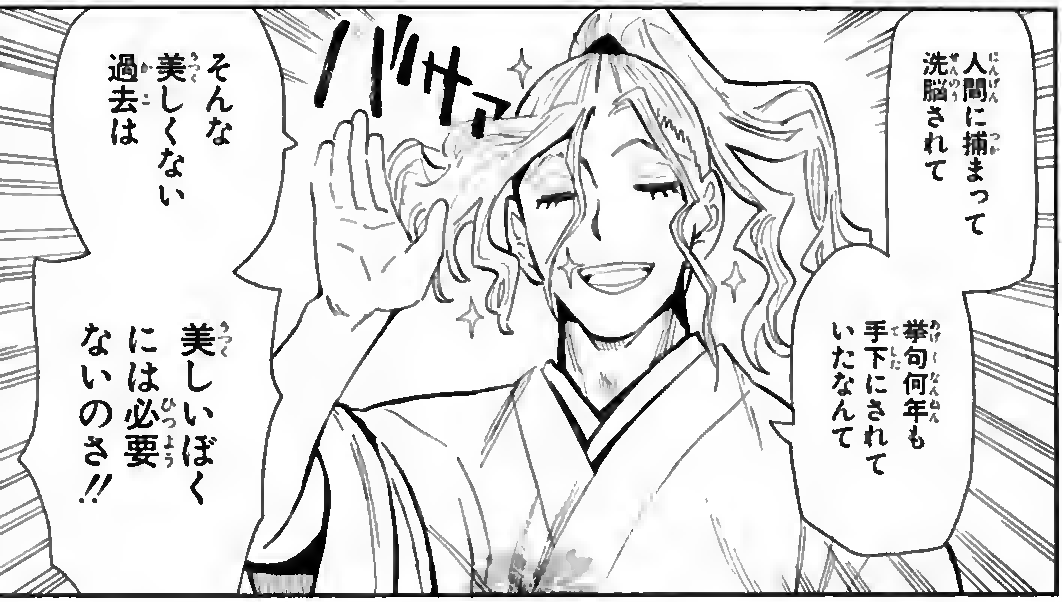
第56回 予言

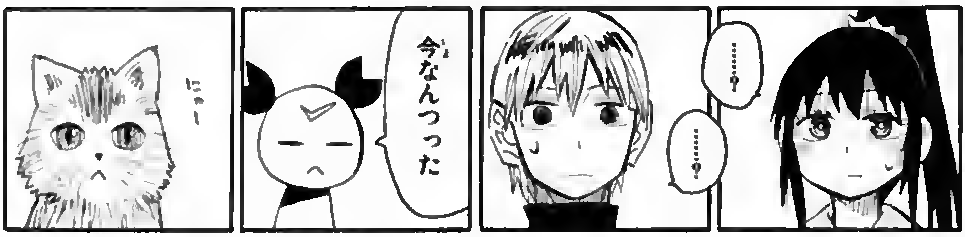
ここははっけの庵だにゃ
お前様は狂神となってここに現れ
一人称
そこの千夜に助けられたにゃ
はっけ
ぺこ

そうかありがとう!!
キミはぼくの恩人だ!!
いいえ
?
ガッ
お久しぶりです泰山様
ガッ


久しぶり?
?
どこかで会ったかな?
幼い頃断怪衆の本山で…
なんで肩揺むんだろう…
ああ!!
それはね
なかったことになってるんだ!!

は？
？
だからね
ぼくにそんな過去はないんだよ


人間に捕まって洗脳されて
拳句何年も手下にされていたなんて
ハハサア
そんな美しくない過去は
美しいぼくには必要ないのさ!!

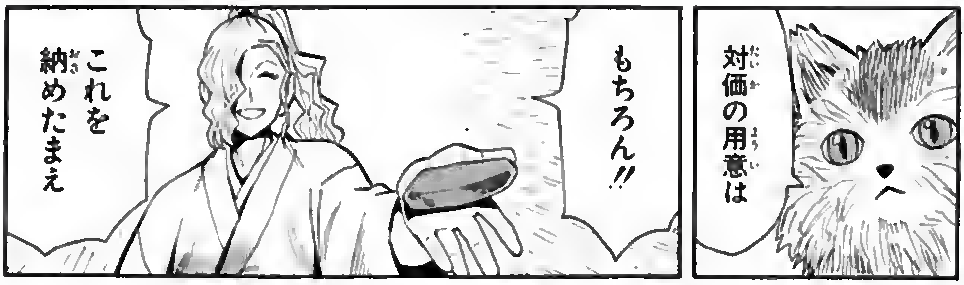

……？
……？
今なんつった
にゃー

必要ないからって過去がなくなるか
大体今自分で言ったろ人間に捕まっ…
あーあーあー聞こえなーい
!?

な……
なんだ
あー
あー
こいつ……

あの…何故こちらに？
支配地はないんですか？
いい質問だねえ
さすがぼくの愚人!!
…いえ…

八卦猫くん
キミの占いを聞きにきたのさ！
色々あって
今のぼくには
支配地がなくてね!!
そこの小さい
キミと同じ
ようにね
！
……
八卦猫に
支配地の候補を
聞きにきたのか


対価の用意は
もちろん!!
これを納めたまえ

いい色だにゃ占うにゃ
はっはっは美しいだろう!?
ぼくの次に!

なんですか?石?
変わった石を集めるのが趣味だそうだ
よーわからん趣味だが
石……?

さてともかく行くか
次の目的地も決まったし
お前らどうする?
ええと…りんずさんって人の所でしたっけ
ああ
んー

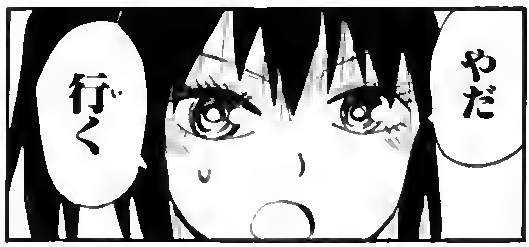
……!!
…山の神に
封印された
お前の父をか…
だが
どうやって?

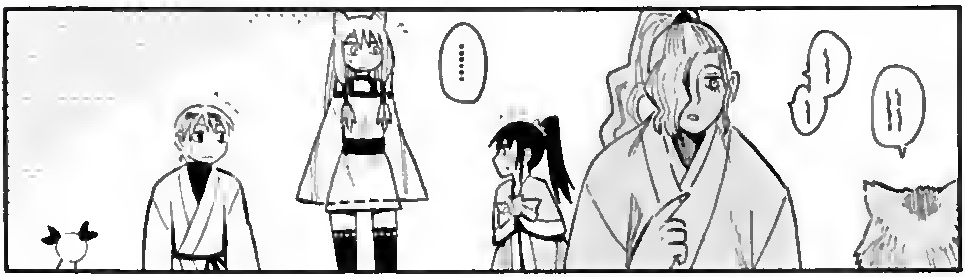
行きます
父上を…
助けます

それは…
…まだ…

あ あたしも
行きます

月湖は
危ないよ
村に戻って
修行の続きと
報告を…


やだ
行く


……
!!!

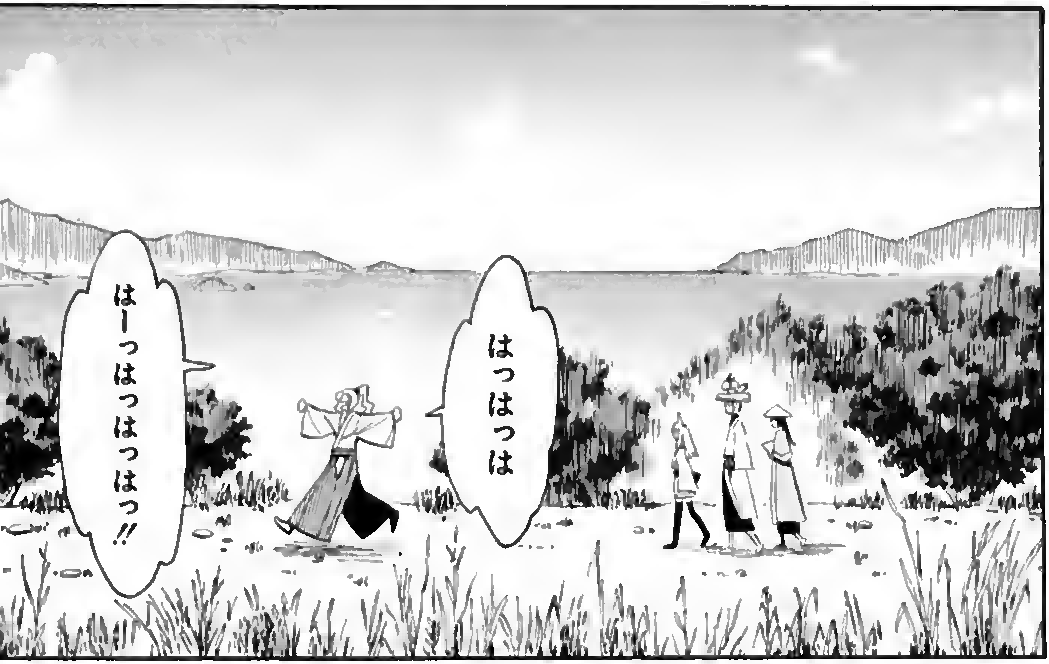
占い終わり
じゃ皆 今日は ここに泊まって 明日行くと いいにゃ
どーせ 行き先は 一緒にゃ
？
はっはっは！ 昨日はよく 眠れたかい!?
では出発しようか 諸君!!

ついてきたまえ
美しいぼくが
華麗に案内して
みせよう！
はっはっは!!

あの…え？
一緒に？
山の神の所へ
行くようだな
というか元々
そっちから
来たんじゃ…
あ用が済んで
一旦戻るのか？
うぜー
……

……

美しい空だねえ!!
ぼくの瞳の次に
なんて雄大な海!!
ぼくの心の次に


はっはっは
はーっはっはっはっ!!

おい
誰かあいつ黙らせろ
ど
どうやって
ムリですよ
くそー悲しいかな奴が一番強い
扱いの面倒な奴が加わったな
え
でも
昨日は千夜が止めたのに
それでも泰山様の方が強いんですか?

……
ああ それは
幽界干渉で
無の民を追い
出せたからだよ
普通に戦いが
続いたら多分…
殺されてたと思う
……

強いって
なんだろう…
強さにも
色々ある
力や
知恵や
心…
…月湖お前は
どうなりたい？

……
あたしは…

足りない
足りない
足りない
どれほど
修行しても
千夜やムドみたいな
存在に届く気がしない
何かが
根本的に
違うんだ
あたしは
弱い
人間
だから？
きっと頭も
良くない
単純に強い
人が勝つと
思ってた
あたしは
あたしより強い人に
勝てない
きっと頭のいい人にも
…勝てない

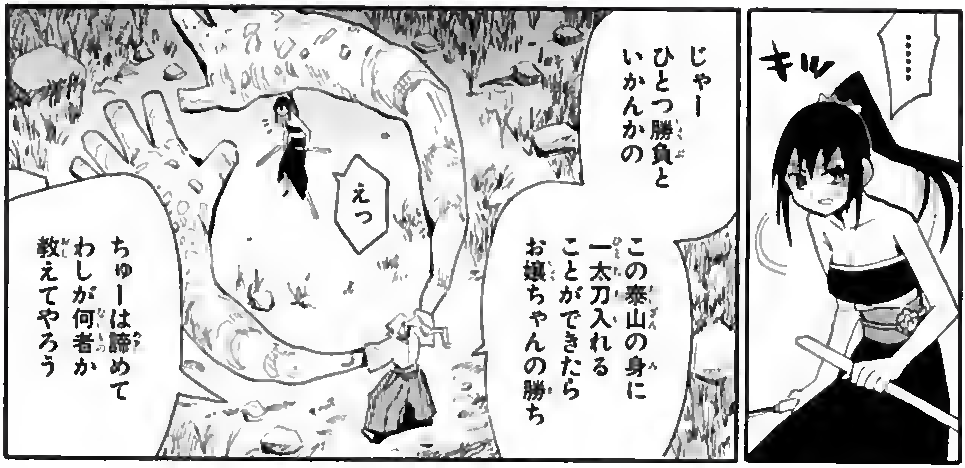
月湖すげー
パチ
パチ
凄くないよ
……
やあやあお嬢さん
何がそんなに悲しいのかな
ふぇっふぇっ
泰山さ…
色っぽい涙じゃの～
実にわし好み
ふぇっふぇっふぇっ
誰…!?
!?
だ…

正真正銘
泰山本人じゃよ
この肉体
はの
!!

何かに
取り憑かれ
てる!?
く
狂神…!?

それより
ほれ
何を泣いて
おったんじゃ?
なぐさめ
ちゃるぞ?
ほれ
ちゅー
ちゅー

まあまあ
そんな
嫌がらんでも
!!


……
キル
じゃー
ひとつ勝負と
いかんかの
この泰山の身に
一太刀入れる
ことができたら
お嬢ちゃんの勝ち
えっ
ちゅーは諦めて
わしが何者か
教えてやろう

……
なにこいつは
頑丈じゃから
しゅる
しゅる
本気で打ち
込んでも救生の
心配は要らんぞ

わしはお嬢ちゃんに
ちゅーできたら
勝ち
ちゅー
いやあああ
いやあああ
わしが勝ったら
乳揉ましても
らうかのー
ひでえ
わあああ
おお

どうじゃ？
ええじゃろ？
ええじゃろ？
月湖
逃げろ!!
……
奴が一番強い
普通に戦いが続いてたら
多分…殺されてたと思う
足手まといだにゃ
……分は悪い
おっ
ちっ
月湖!!
ガーッ!!

逃げられない
すー
逃げたくない
あたしは弱い
ずっと守られてきた
こうして大人になっても
ぴた
守る側に回れないくらいなら
死んだ方がマシだ!!
せやあああ!!

おっほ
良い気迫

そんな思い
つめんでも
わしゃ乳揉んで
尻撫でたいだけ
なんじゃが

増えてんぞ

…下策!!
片手で上段の
刀を掴んで

もう片手で

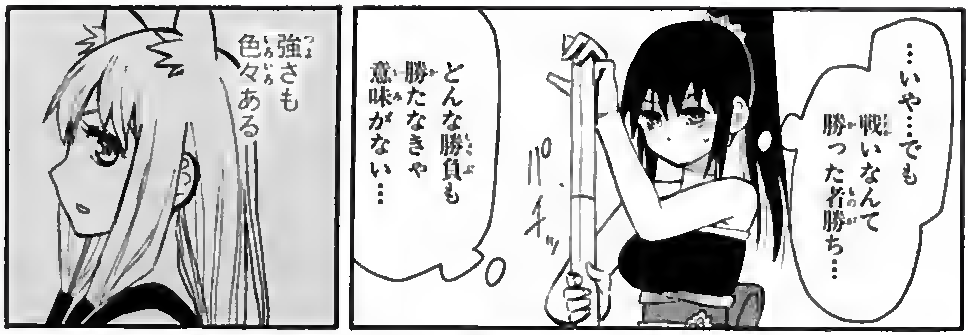
乳もろた
あああ!!

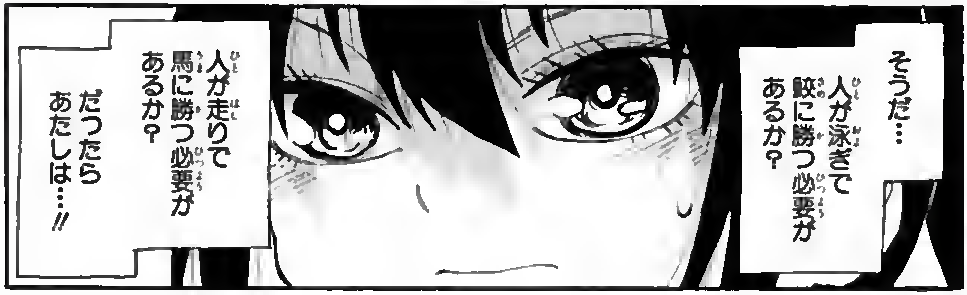
だが

正面から
とは…

おおっ!?
おおお!?
ヒュン

おっ…
おっ!!
お美脚…
そ
そういう時はお見事って言ってほしいです…
月湖お色気剣法なう
こういう邪道っぽいのじゃなくて…
ちゃんと強くなりたい…
ズボッ
……
は…


…いや…でも
戦いなんて
勝った者勝ち…
どんな勝負も
勝たなきゃ
意味がない…
パーイッ
強さも
色々ある

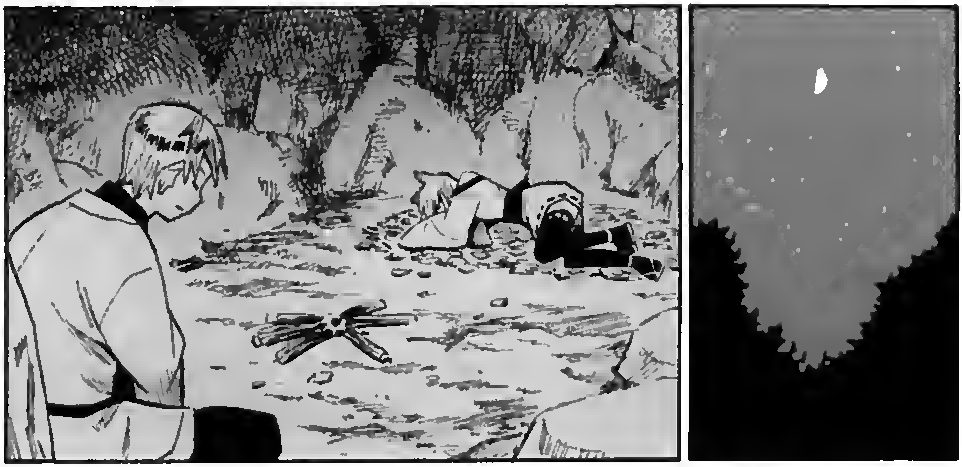

そうだ…
人が泳ぎで
鮫に勝つ必要が
あるか？
人が走りで
馬に勝つ必要が
あるか？
だったら
あたしは…!!

ふぇっふぇっ
ふぇっ
視線誘導は
真ッ当な
技術じゃよ

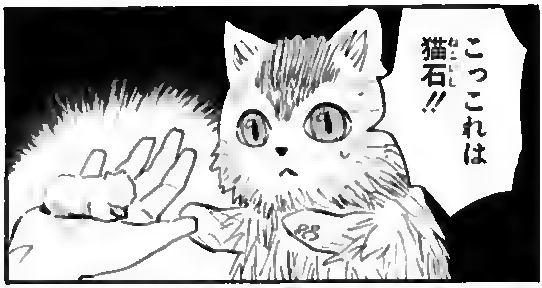
！
じゃが…
邪道もまた
道。
むくり
そして
人の最も
秀でたるは
悪。
あ…
あなたは
一体…

生前の名は
黒月斎
かつて山戸迅火の
師であった者の
亡霊じゃよ

お嬢ちゃんには
見所がある
どうじゃ？
我が弟子となり
邪の道を…
左道を
極めては
みんかね？
……!!

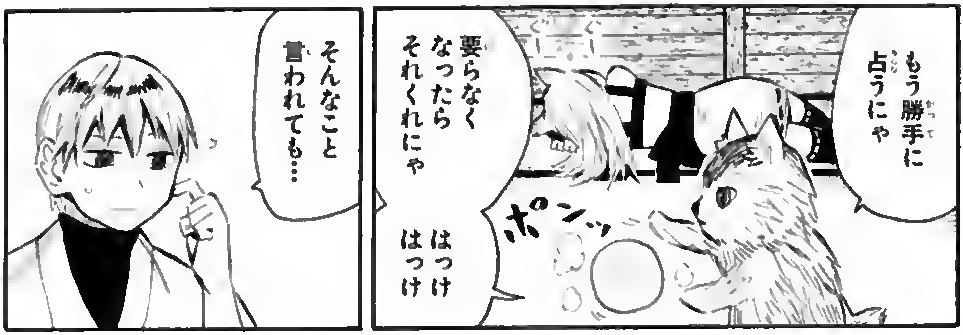


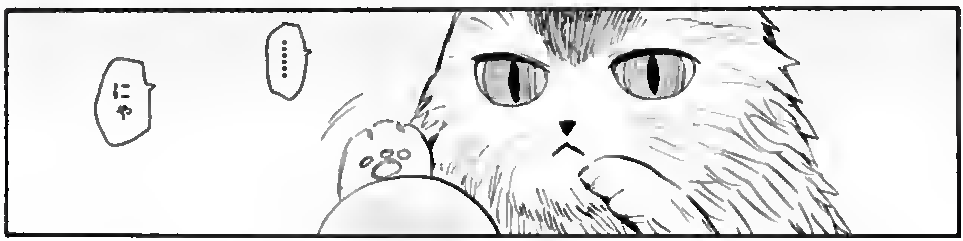
すー
すー
石集めが趣味って…
こういうのはどうだろう
これって収集家から見てどうかな
にゃ?


こっこれは猫石!!

で何を占うにゃ?
にゃ?
いや別に…
そんにゃ!!
それくれにゃ!!
くれにゃ!!

あげないよ一応大事なものだし
寅寅様にはあげようとしたのに?
にゃー
にゃー
にゃー
あれは一番大事なものと引き換えだと思って

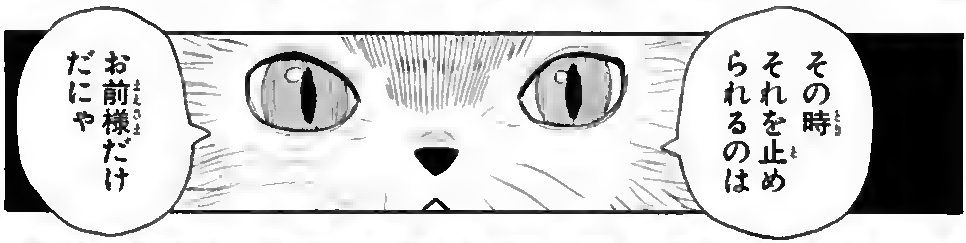

もう勝手に占うにゃ
ポンッ
要らなくなったらそれくれにゃ
はっけ
はっけ
そんなこと言われても…


……
にゃ

…占うほどでもなかったにゃ
お前様の当面の目標は次の2つ
父の救出と無の民との決着
千本妖狐山戸迅火のことはちょっとどうでもいいと思ってにゃいか？

ん
まあ…
とんでもないにゃ
無の民を退けるということは
ただいまっ
水汲みを準備にこなしてきたよっ
すたすたすた
はっはっは
千本妖狐が野に放たれるということだにゃ

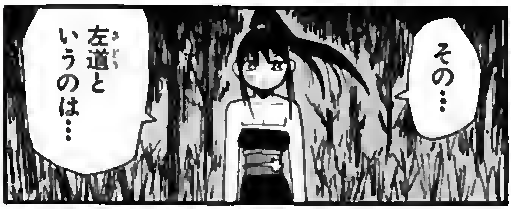
野放しとなった
地枯らしの神獣は
……
大地の霊気を
吸い尽くそうと
するにゃ


その時
それを止め
られるのは
お前様だけ
だにゃ

そしてそれは
この島国の存亡が
懸かった大一番
お前様の長い人生の中でも
最大規模の決戦と
なるにゃ

千本妖狐…山戸迅火
千魔混沌の魔神…千夜
二人は運命の宿敵同士
…対決は避けられないにゃ

……
ネー
ネー


その…
左道というのは…

千本妖狐から
千夜を守れますか？

これは一体
あはは…
こ…こうですか？
パシャ
どういう状況なのだろう…
こうだ!!
バシャ
あっはっはー!!
おれ達は一体…
もっと気合入れて遊ばんかー!!

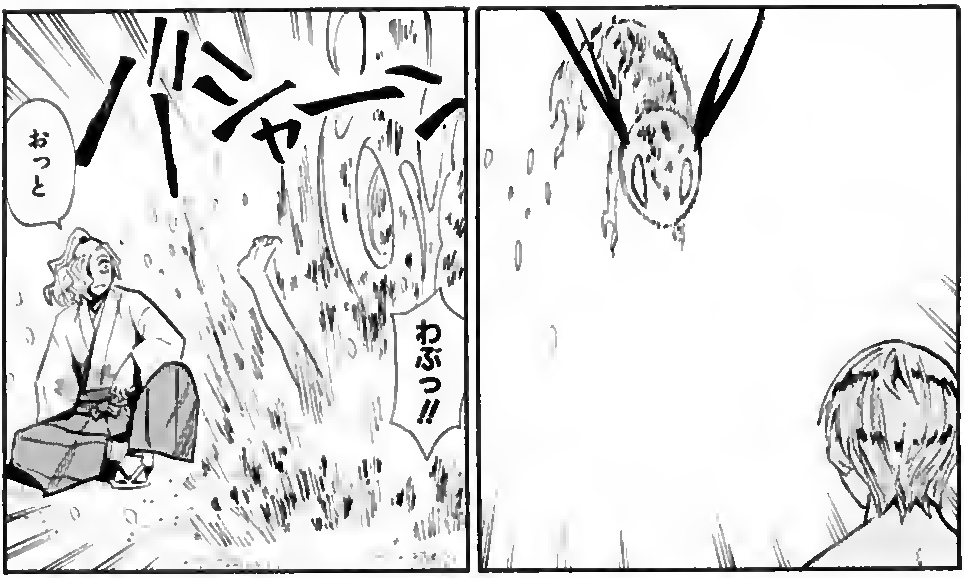
第57回　古恩（だいかい　ふるおん）

はっはっは
面白い発想だねぇ
海遊び
なんて
海なんて
交通や漁や
戦の場としか
思ってなかったよ
バシャー
泰山様は遊ばれ
ないんですか？

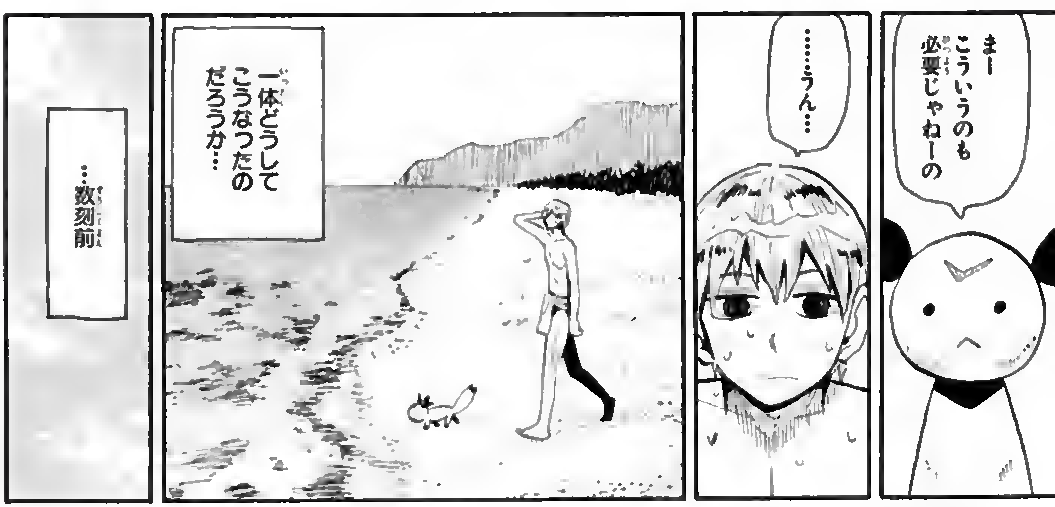
およげないのさ
ぼくはほら
「山」だから
キミこそ行って
きなよ
準備万端
じゃないか
はあ
うーん…

うーん
行っていい
ものやら…
バシーン

こらー
千夜も
来んかー!!
バシーン
あのーこの着物？
なんか恥ずかしい
んですけど…

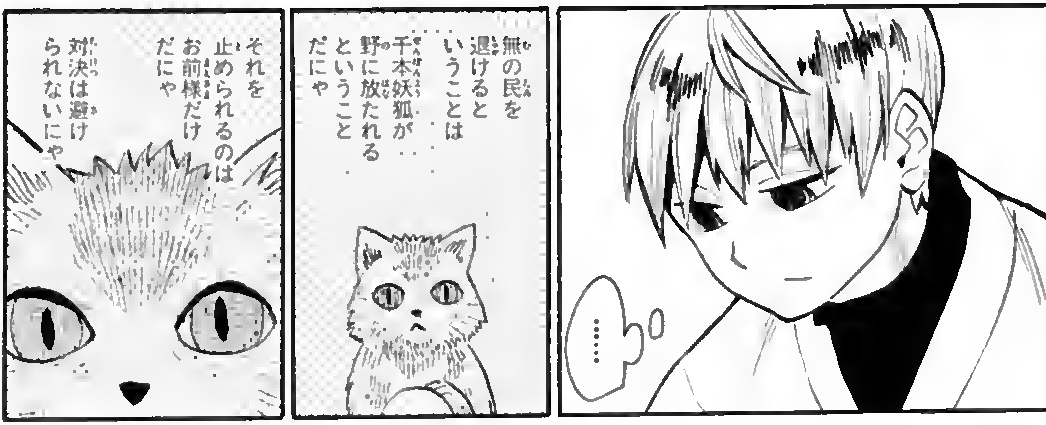

バシャーン
わぶっ!!
おっと

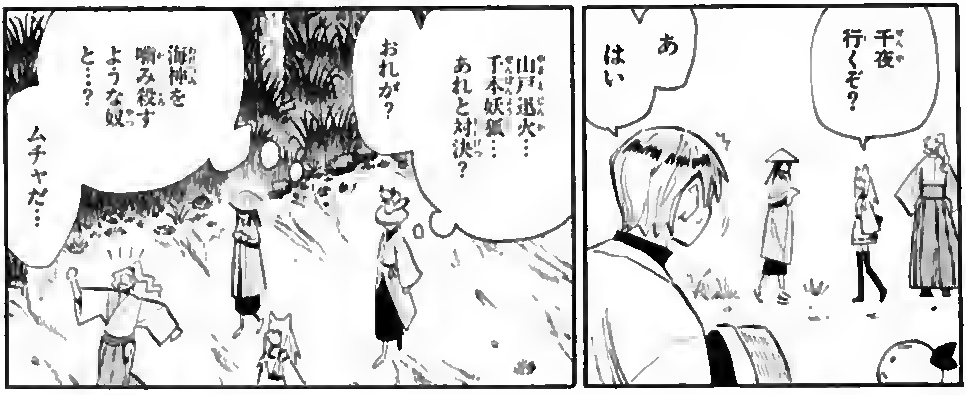
なう…
行こーぜ
おっ
やるな


まー
こういうのも
必要じゃねーの
……うん…
一体どうして
こうなったの
だろうか…
…数刻前

はっはっは
おはよう諸君!!
気持ちのいい朝だねえ
ぼくの人柄の次に!!
くかー
おはようございます
月湖あいつ…
しー
……
……
出発進行~
はっはっは
……

茶
店主
勘定
はっはっは
なんて
いじらしい花
ぼくの…えーと
…鼻の次


……
無の民を
退けると
ということは
千本妖狐が
野に放たれる
ということ
だにゃ
それを
止められるのは
お前様だけ
だにゃ
対決は避け
られないにゃ


千夜
行くぞ?
あ
はい
山戸退火…
千本妖狐…
あれと対決?
おれが?
海神を
噛み殺す
ような奴
と…?
ムチャだ…

…それでも無の民は
なんとかしなければ
おれに未来はない
無の民の目的の
千怪の宝玉は
おれの一部
奪われたら
おれは死ぬ
でもあいつらも
祖国を救うために
働いてると言うた
おい？

運中の国の
何千万という民が
生きるか死ぬかの瀬戸際だ
…おれの命は
一国の民の命と
引き換えにできる
ほどのものだろうか？
やめろ考えるな
侍じゃないんだ
何かのために
命を捨てたり
懸けたりしなくていいはず
おい千夜
千夜!!

あっ
え
はい？
どうした？
なんつー顔して歩いとるか

いえ…
その
なんでも…

あたしが守るから

大丈夫千夜
そんな顔しなくていい

……
…月湖？
……おいお前も険しい顔しとるぞ
だ大丈夫です

全員注目――く!!

……

ふーむ

行脚
ここまで!!
今日は
海で遊ぶ
っ!!

えっ

ザーン…
海で?
どうやって…
…ていうか
なんで?
海なう
月湖
ちょっと来い
あの
急ぐ
旅じゃ
急いどらん
8年待った
今更だ

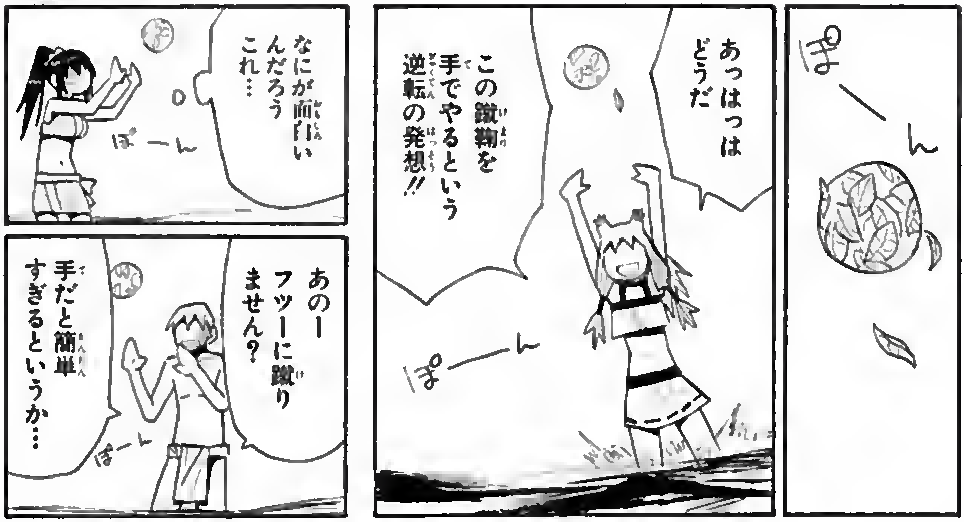
あの
何を…？
まあまあ
早よ脱げ
あわわ
覗くなよ
男ども
あとふんどし
一丁になっとけ
ガヤ…

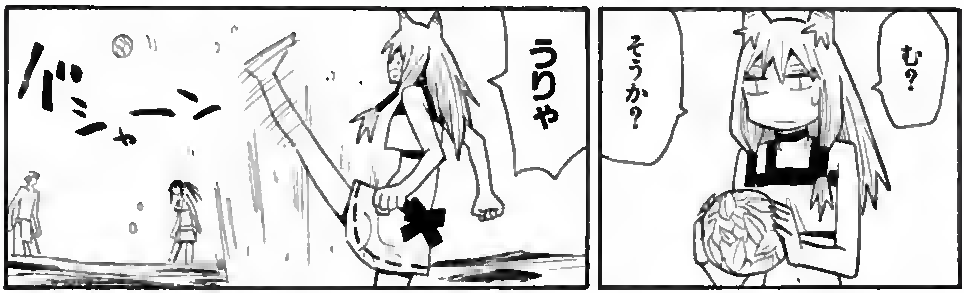
どうだ!!
おれ考案の幻術
水練用着物
あー
名付けて
泳着

えっ!?
えっ
ぼく何か
言った？

惜しいっ
うわっ!?
うひょひょ
こりゃ
ええのう

⇩冒頭に戻る

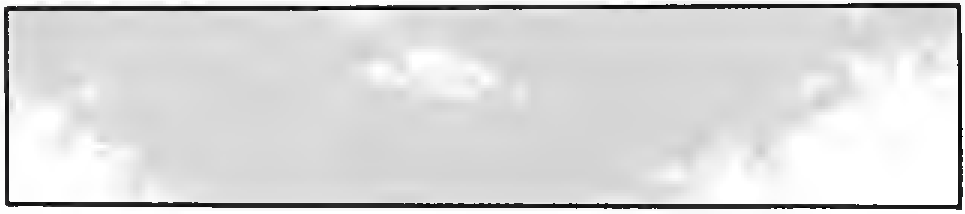

ぽーん
あっはっは
どうだ
この鍛物を
手でやるという
逆転の発想!!
ぽーん
なにが面白い
んだろう
これ…
ぽーん
あのー
フッーに蹴り
ません?
手だと簡単
すぎるというか…
ぽーん


む?
そうか?
うりゃ
バシャーン

えいっ
バシャ
よっ
バシャ
ここれは!
キツイぞ
これ!!
ああ
足腰の鍛錬
にいいな
バシャ
あっ
ころ
てん
てん

ひっ 犬!?
誾…?

そこのお若い方
銀髪の一族の方と
お見受けしますが
えっ
お話よろしいですか



某 古恩と申します
千夜です どうも…
犬…

人を捜しております
銀髪の一族で雲蔵という者なんですが

すみません
父以外の銀髪の
一族には会ったことが
ないので
ちょっと…
……
そうですか
……

おれと父上の
他にも銀髪の
一族が…
あの どんな人
ですか？
えーと…雲蔵
さんって

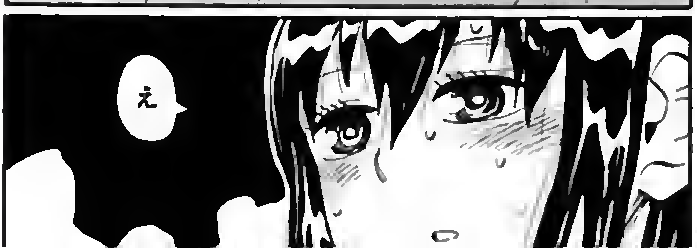
某の友人です
頑固ですが心優しい
少年でした
曲がったことが
嫌いで腕っぷし
も強く
よく村の子と
ケンカをして
いました

某はもう衰え
先行き短い
老犬の身
せめて最後に
友人に一目と
思いまして…

父に会えたら聞いてみます
ぺこり
ありがとうございます
いつもこの辺に居りますゆえ
生きてるうちにご縁がありましたらよろしく…

……
あの
なんで隠れるんですか？
犬…怖い…
妖狐の天敵…

はー
すぐ近くにいい宿とお風呂あって良かったですね
おー
お前らの眉間のしわも少しはとれてよかった


え

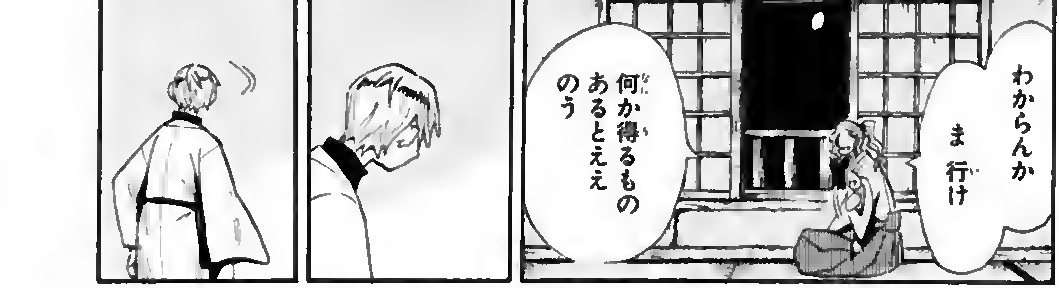
邪気を祓うのに
塩を撒いたり
盛ったりするだろ
塩の源
海は命の起源だ
海は命を
強くする
頭で考え
困った時は
体に聞くのが
一番

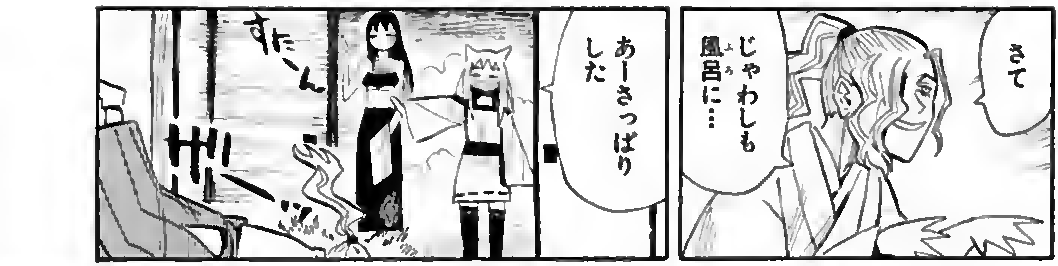
すみません
気を遣って
もらって…
いや…
おれもな…
少し焦ってた

海か…
少し楽し
かったな

はっはっは
美しい月だねえ
ぼくのえーと
…えーと…
そういえば
今日はあまり
進んでませんが…
寒山様は
急ぐ旅では…
いいや?
久々の自由を
満喫している
ところさ
はっはっは
…ああ
ところで

今日の犬…
古恩の言った
雲蔵…
本当に
心当たりは
ないのかのう
…ありま
せんが…
目鼻が
変わった…?
腕っ節と
正義感の強い
ガンコ者の
銀髪の雲の字…
本当に知らん
かのう
……
……!!…
え　でも
少年って…
もひとつ
気になることを
言ってたのう
衰え先行き
短い老犬だと…
闇の老犬など
滅多に聞かぬが…
……
ちょっと
出掛け
ます　朝まで
には…
行って
どうする?
……
…えっと…

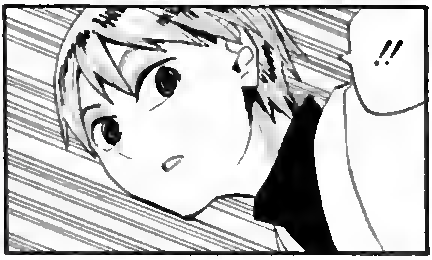

わからんか
ま行け
何か得るものあるとええのう


さて
じゃわしも風呂に…
すたーん
あーさっぱりした

どーした
あれ？何故ぼくはずっこけているんだろう
じじい出たな…
あれ？
千夜は？
ゴオオオ

暗いな…

あの犬を捜してるのか?
なんで?
あんな弱った地神になんの用だ?

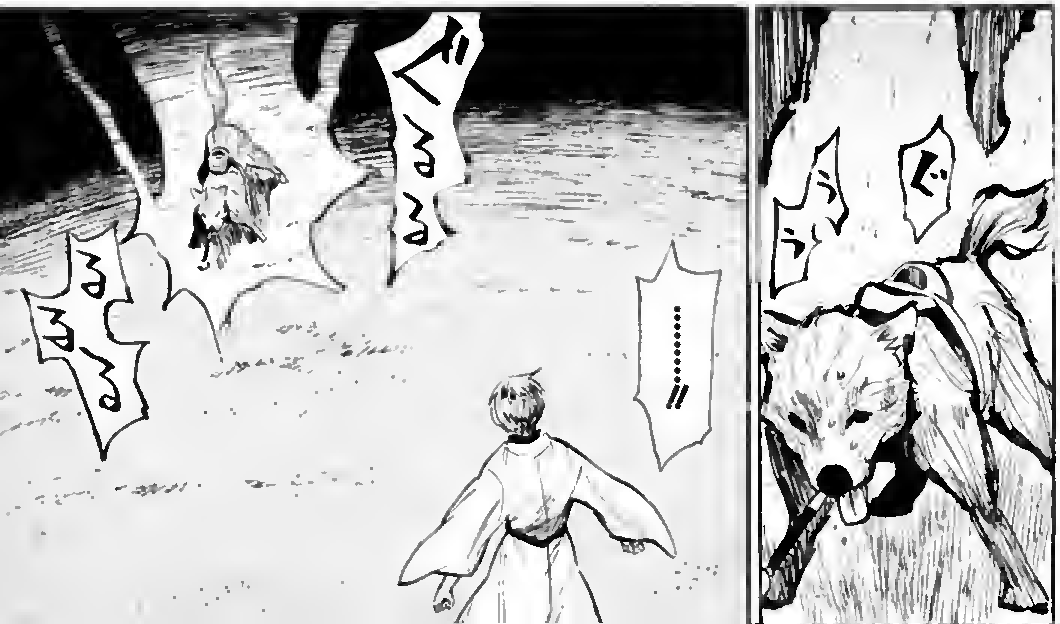

!!

ガッ

そういえば…
お前らも銀髪の一族だったな

無の民…!!
…千夜?
この犬と
知り合いか?
この近辺の小さな
地神達は皆
千本妖狐の影響で
弱ってしまって
使い物にならなさそう
だからどうしたものかと
思っていたが…

こういう手も
アリか
スッ
やめろ!!
ドシュ


ぐるる
るるる
……!!
ど
う
う

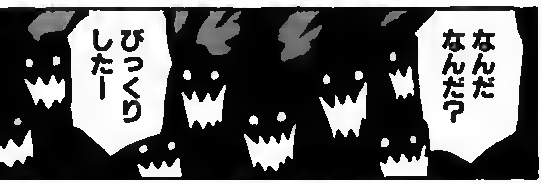
古恩!!
おいおいあんなの戦いにならんだろ
どうする千夜
捕えるのも容易だぞ

即行で幽界干渉を決めて無の民を追い出す…!!
あんな状態古恩の体に負担になる…!!

助けなきゃ…!!
古恩は…

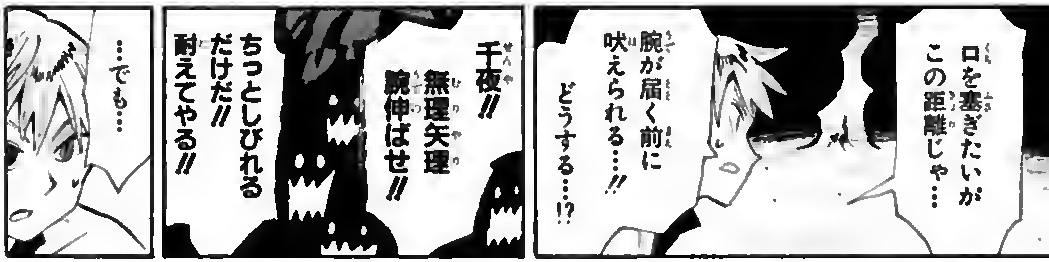
幽界
干渉…!!

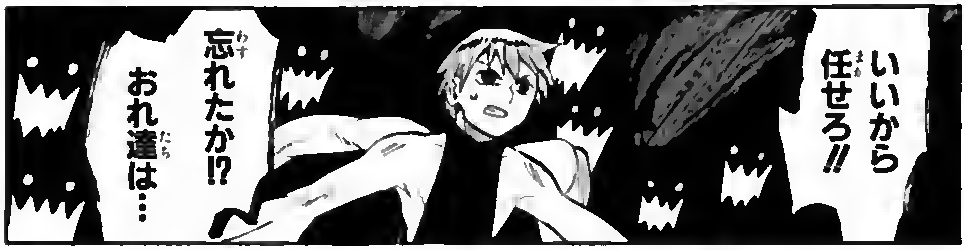
うわっ!?
うっ…
ビリ
ビリ


なんだ
なんだ?
びっくり
したー

そういえば
犬の遠吠えには
魔を祓う力が
あるって
しんすけが
言ってたな…
弱っても地神の
魔払い…こっちは
魔のカタマリ…
…相性が悪い…!!

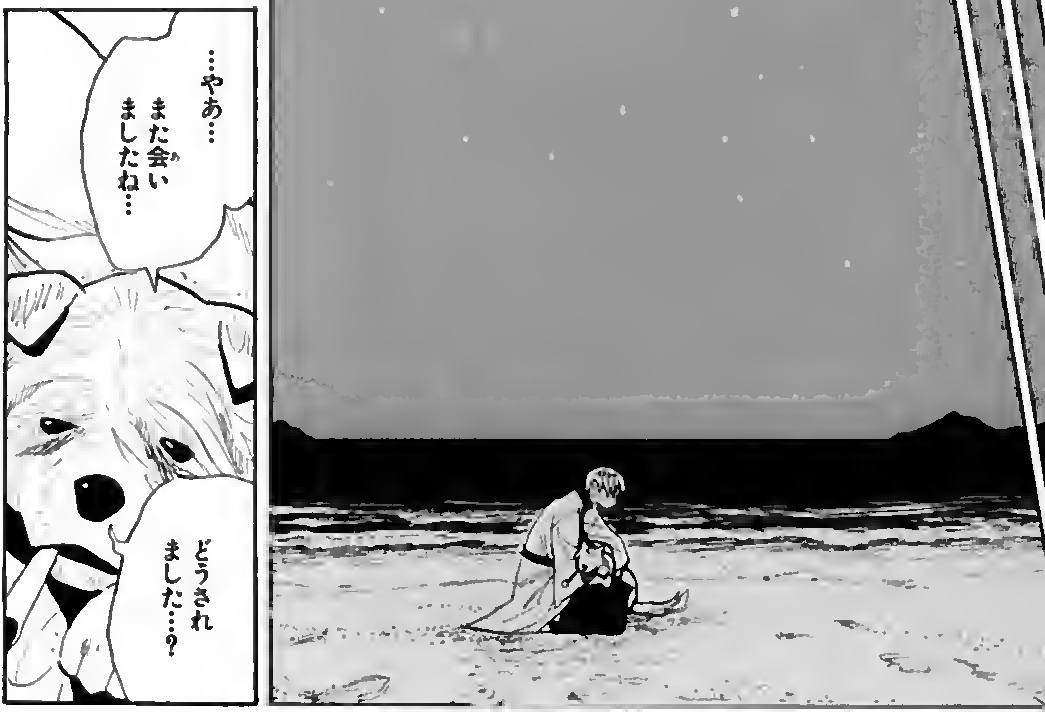
ウオオンッ!!
……!!


口を塞ぎたいがこの距離じゃ…
腕が届く前に吠えられる…!!
どうする…!?
千夜!!
無理矢理腕伸ばせ!!
ちっとしびれるだけだ!!耐えてやる!!
…でも…


いいから任せろ!!
忘れたか!?おれ達は…

無敵だ!!

ウォオオオ
おおお根性(こんじょう)おおお!!
おおおおお!!
ああ…
やっぱり…


…やあ…
また会いましたね…
どうされました…？

雲蔵のことがわかりました
…おれの父です
今は断怪衆の僧となり神雪と名乗ってます
きっと一緒に居たのは何十年も前のことでは？

ああ…そういえば…ついこの間だと思ってましたが人の時は短いんでしたっけね…
いやあ…あの雲蔵にこんな立派な子が居るとは…
ふふ…匂いもよく似ている…同じ銀髪だからと思ってましたが…
そういうことか…

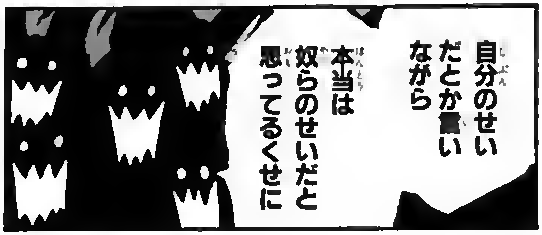
今 父は囚われの身で
おれはそれを救いに行く
旅の途中です
父を解放できたら
連れてきます
いや…もう…
某は今夜枯れ
果てる運命の
ようです
あなたに
会えて
良かった…
もし良かったら
この煙管を
もらってくれ
ませんか
あの腕白小僧の
立派な息子さんに
会えた記念に…

……

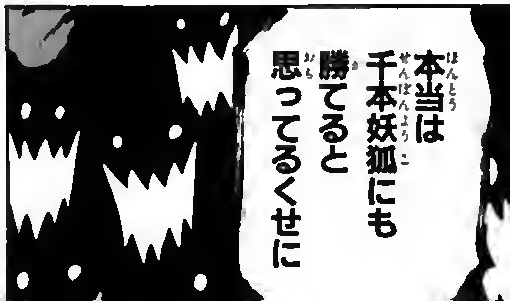
よー千夜
自分のせいだとか
無の民を倒したく
ても千本妖狐に
勝つ自信ねーとか
無の民の祖国の
何千万の民の命が
なーんて
小難しいこと
考えてんじゃ
ねーぞ

奴らにどんな
事情があろうが
本当は命差し出す
気なんかさらさら
ねーくせに

ああ…
そうだな…
ないよ


自分のせい
だとか言い
ながら
本当は
奴らのせいだと
思ってるくせに

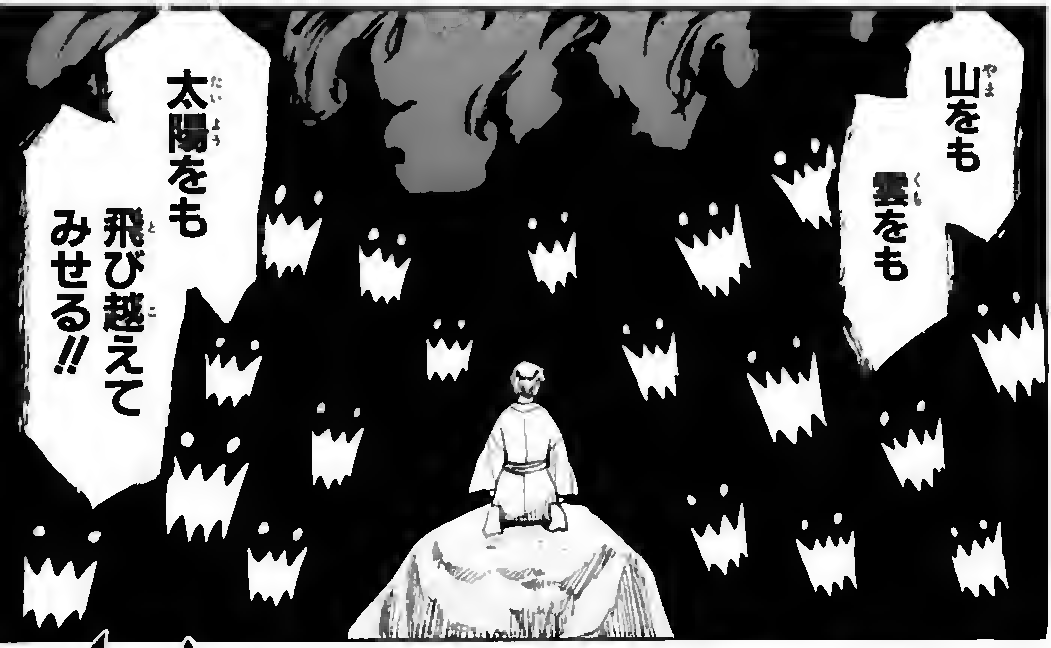
……
それは…
あるかもな


本当は
千本妖狐にも
勝てると
思ってるくせに

いや
そこまでは

思えよ!!
おれ達は勝てると思ってるぜ
泰山とだって本当は勝てたと思ってるぞ
まともにやっても
……
おれもおれも
わしもおいらも

龍をも乗り越えられると知った我らにもう怖いものなどあるものか
千夜王よ
友よ
お前が望めば我らは


山をも
雲をも
太陽をも
飛び越えてみせる!!

戦国妖狐 10 おわり

戦国妖狐
第10巻

作画スタッフ
蝶田じゅえる
臼井仁志
相模 映

タイトルロゴ
赤羽美保

カバーデザイン
行徳ゆみ(オン・グラフィクス)

担当編集
宮本幸則